

ならしの消防

消防年報

(令和 6 年版)



「20m級屈折はしご付消防車」

奈良市消防局

(令和 7 年刊行)

は じ め に

奈良市消防局は、消防行政の実態を紹介するために昭和56年から毎年消防年報を刊行しています。

創刊以来、日々社会経済情勢は変化しており、本市の消防行政もそれに対応すべくソフト、ハード両面にわたって刷新しつづけています。

この年報では、新しく変わりつつある奈良市消防の現在のすがたをわかりやすく紹介するため業務内容、火災・救急統計等を系統別に収録し分析しています。

なお、この年報において、何年中とあるのは暦年間（1月1日から12月31日）、何年度とあるのは会計年度（4月1日から3月31日）をいい、原則として、予算関係は会計年度、それ以外のものについては、令和7年4月1日現在の現況及び暦年で取りまとめました。

今後における消防行政推進の資料としてご活用いただければ幸いです。

奈良市消防局

目 次

消防情勢	1
1 奈良市の概要	2
2 奈良市消防の沿革	4
3 消防機関配置図	10
(1) 局、署所配置図	10
(2) 消防施設	11
総務関係	13
4 奈良市消防局の組織	14
5 事務分掌	15
6 消防予算	19
(1) 一般会計予算額と消防費との比較	19
(2) 消防費予算の一般会計に対する比率の推移	19
(3) 消防予算の内訳及び前年度との比較(当初予算)	20
(4) 消防費に対する人口・世帯当たりの額	20
(5) 消防費性質別予算額	20
7 職員の階級別配置状況	21
8 職員の階級別勤続年数調べ	22
9 職員の階級別年令調べ	23
10 職員の研修状況	24
11 奈良市消防音楽隊の概要	25
(1) 音楽隊の編成	25
(2) 音楽隊員の階級別年令調べ	25
(3) 楽器保有数	25
警防関係	26
12 警防概要	27
13 警防概況	28
14 署別警防出動状況	29
15 月別警防出動状況	30
16 消防車両等の配備状況	31
17 消防水利状況	32
(1) 消火栓	32
(2) 防火水槽	32
(3) その他の水利	32
通信関係	33
18 通信施設	34

(1) 基地局	34
(2) 無線電話の現状	35
(3) 有線電話	36
(4) 119番着信件数	37
(5) 119番通報種別割合	38
(6) テレフォンガイド利用数	38
(7) 月別気象状況(消防局)	39
(8) 月別気象状況(東消防署)	40
救急関係	41
19 救急概要	42
20 救急資器材	43
21 救急概況(前年との比較)	44
22 署別救急出場状況	45
23 署別救急出場件数	46
24 月別救急出場状況	47
25 時間別救急出場状況	48
26 傷病程度別搬送人員	49
27 救急隊員の行った応急処置回数	50
28 救急救命士による特定行為実施状況	51
29 急病にかかる疾病分類別傷病程度別搬送人員調	51
30 過去5カ年の事故別救急出場状況	52
31 応急手当講習実施状況	53
救助関係	54
32 救助概要	55
33 高度救助用資機材	56
34 救助資機材	57
35 救助概況(前年との比較)	58
36 署別救助出動状況	59
37 月別救助出動状況	60
38 発生場所別救助出動状況	61
予防関係	62
39 防火対象物一覧	63
40 用途別中高層建築物状況	65
41 消防同意処理状況	67
42 過去5カ年の建築同意処理件数状況	67
43 消防法及び火災予防条例に基づく各種届出状況	68
44 類別、数量別危険物施設数	70
45 危険物施設数及び各種許認可処理状況	71
46 奈良市所在の指定文化財等	72
47 火災予防広報等活動状況	73

48 女性防災クラブ・幼年消防クラブの現状	74
(1) 女性防災クラブ	74
(2) 幼年消防クラブ	75
(3) 奈良市ジュニア防災クラブ	75
火災統計	76
49 火災概要	76
50 火災概況(前年との比較)	77
51 署別火災概況	78
52 過去5カ年の火災状況	79
53 校区別火災状況	80
54 気象別火災状況	81
(1) 風速別	81
(2) 湿度別	81
55 覚知方法別火災状況	81
56 曜日別火災状況	81
57 覚知時間別火災状況	82
58 月別火災状況	83
59 用途別・原因別火災状況	84
消防団関係	85
60 奈良市消防団の組織	86
61 消防団員の階級別定員数	88
62 消防団員の新任状況	89
63 消防団員の退職状況	89
64 在職年数別消防団員数	90
65 消防団員の職業状況	90
66 消防団員の表彰状況	91
67 消防団員の出動状況	91
68 消防団機械器具等配備状況	92
69 消防団員の報酬	93

※ 表中の数値が「0」の場合（合計欄の「0」は表記あり）は空白としています。

消 防 情 勢



「全職員研修」

1 奈良市の概要

奈良市は、大和青垣国定公園、奈良公園、矢田自然公園など美しい自然のなかに位置し、特に特別天然記念物に指定されている春日山原始林をはじめとする緑の環境に恵まれています。

明治31年2月市制施行当初、市域面積23.44Km²、人口3万人足らずでしたが、大正12年4月添上郡佐保村の編入をはじめとし、6回にわたり町村が編入されました。また、平成の合併では平成17年4月1日に月ヶ瀬村と都祁村が編入し新しい奈良市がスタートしました。

現在、市域面積は276.94km²に拡大され、人口も35万人近くになります。

その間、昭和25年には国際文化観光都市を宣言し、昭和41年には正倉院周辺春日奥山に古都保存法が適用され、歴史都市として個性ある街づくりをしています。

千三百年近くを生きる木造建築物など、奈良のまちには、世界遺産「古都奈良の文化財」をはじめ、数多くの歴史的遺産があります。これらは、先人たちが学術・芸術・技術の粋を集めて創り上げ、平城京で花開いた人類共有の貴重な宝です。

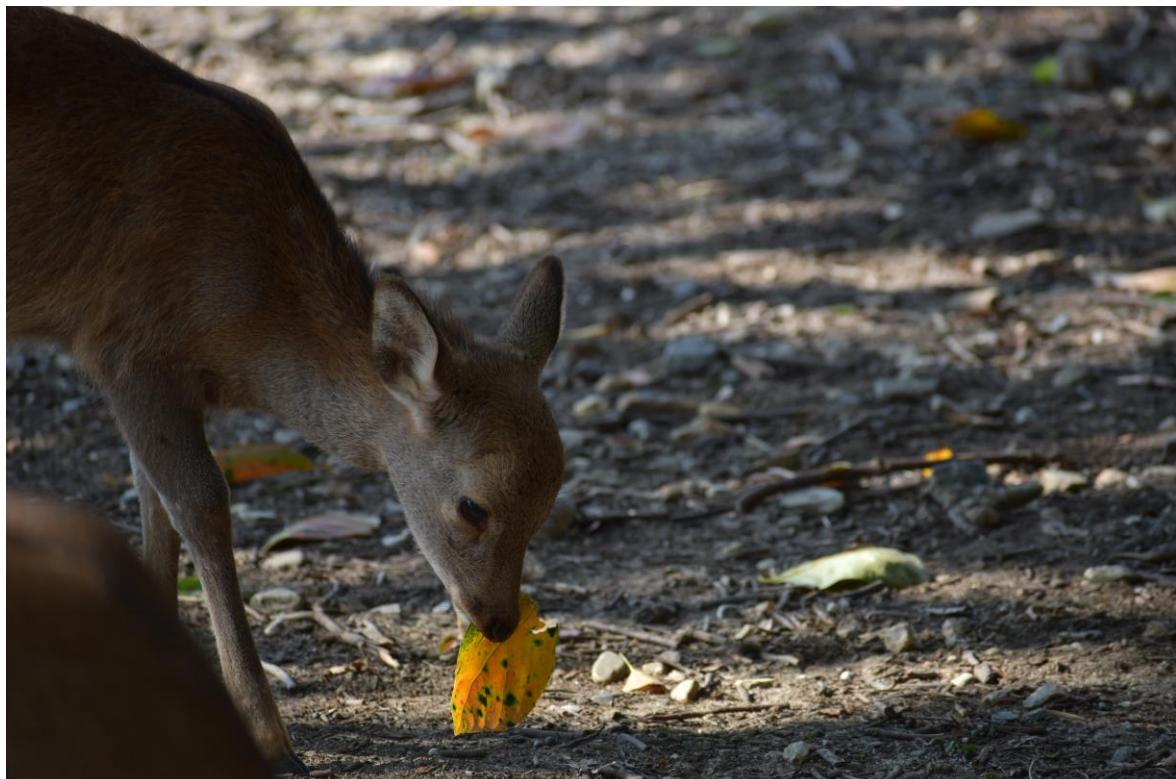
こうした美しく豊かな自然と、今日まで先人たちが守り伝えてくれた文化財の防火をはじめ、多様化した市民のニーズに十分応えうる都市基盤や社会資本の充実、そして災害に強いまちづくりの建設、またそれにふさわしい行政の施策展開のための体制づくりが急務となっており、いにしえに学んだ知恵を活かしながら、国際都市として、また近畿圏における中枢都市としてさらなる発展を続けています。

人口・世帯数の推移

年別 (年)	面積 (Km ²)	世帯数	1世帯当たり平均 世帯人員	人口			人口密度 (km ² 当たり)	摘要
				男	女	計		
大正9	23.44	8,737	4.61	20,270	20,031	40,301	1,719	国勢調査 10月1日
14	29.92	10,369	4.71	25,033	23,846	48,879	1,634	"
昭和5	29.92	11,336	4.66	26,195	26,589	52,784	1,764	"
10	29.92	11,840	4.73	27,594	28,374	55,968	1,871	"
15	29.80	12,332	4.64	27,477	29,796	57,273	1,922	"
20	39.52	16,430	4.25	31,417	38,398	69,815	1,767	人口調査 11月1日
22	39.52	17,708	4.65	42,512	39,887	82,399	2,085	臨時国勢調査 10月1日
25	39.52	17,487	4.45	38,097	39,769	77,866	1,970	国勢調査 10月1日
30	121.22	25,552	4.53	55,322	60,352	115,674	954	"
35	210.33	31,026	4.34	65,548	69,029	134,577	640	"
40	211.91	40,738	3.94	77,865	82,776	160,641	758	"
45	211.91	57,111	3.65	100,561	107,705	208,266	983	"
50	211.91	73,651	3.50	124,773	132,765	257,538	1,215	"
55	211.91	90,821	3.28	144,250	153,703	297,953	1,406	"
60	211.91	100,798	3.25	157,989	169,713	327,702	1,546	"
平成2	211.61	112,990	3.09	167,310	182,039	349,349	1,651	"
7	211.60	123,718	2.90	171,926	187,292	359,218	1,698	"
12	211.60	133,774	2.74	173,652	192,533	366,185	1,731	"
16	211.60	143,052	2.56	174,539	191,756	366,295	1,731	4月1日 現在
17	276.84	140,462	2.63	174,469	195,633	370,102	1,336	"
18	276.84	147,888	2.51	176,769	195,141	371,910	1,343	"
19	276.84	149,230	2.49	176,021	194,831	370,852	1,340	"
20	276.84	150,626	2.45	175,194	194,514	369,708	1,335	"
21	276.84	151,965	2.43	174,334	194,258	368,592	1,331	"
22	276.84	153,361	2.40	173,981	194,116	368,097	1,330	"
23	276.84	154,902	2.37	173,632	194,085	367,717	1,328	"
24	276.84	155,968	2.35	172,881	193,548	366,429	1,324	"
25	276.84	156,045	2.34	172,026	192,810	364,836	1,318	"
26	276.84	157,276	2.32	171,773	192,553	364,326	1,316	"
27	276.94	158,268	2.29	170,927	192,124	363,051	1,311	"
28	276.94	159,297	2.27	170,012	191,411	361,423	1,305	"
29	276.94	160,242	2.24	169,045	190,621	359,666	1,299	"
30	276.94	161,392	2.22	168,225	189,930	358,155	1,293	"

年別 (年)	面積 (K m ²)	世帯数	1世帯当たり平均 世帯人員	人口			人口密度 (km ² 当たり)	摘要
				男	女	計		
31/令和1	276.94	162,380	2.19	167,210	189,142	356,352	1,287	4月1日現在
令和2	276.94	163,991	2.17	166,714	188,815	355,529	1,284	〃
令和3	276.94	165,360	2.14	166,035	188,252	354,287	1,279	〃
令和4	276.94	165,784	2.13	165,318	187,840	353,158	1,275	〃
令和5	276.94	166,927	2.10	163,760	186,558	350,318	1,265	〃
令和6	276.94	167,787	2.08	162,659	185,626	348,285	1,258	〃
令和7	276.94	168,722	2.05	161,386	184,638	346,024	1,249	〃

注) 平成26年10月1日 国土地理院より市域面積の新数值が公表される。



「奈良公園の鹿」

2 奈良市消防の沿革（平成元年以降、明治～昭和については奈良市消防沿革史にて保管）

平成 元年 4月 第六代消防長に森井堯運氏就任
警防課に特別消防救助隊を設置
8月 法蓮町926番地の4に東消防署佐保出張所を移転
11月 秋の火災予防運動初日（11月9日）に三条通りを初の防火パレード実施
12月 防災指導車購入
2年 4月 消防職員定数 260名
9月 中消防署西大寺出張所改築工事のため、二条町二丁目80番地の3に仮出張所を設置
第1回救急展を奈良そごうにおいて実施
3年 3月 50m級梯子車購入
4月 消防職員定数 270名
7月 患者等搬送事業乗務員講習会実施
4年 1月 中消防署西大寺出張所改築完成
4月 消防職員定数 288名
右京二丁目1番地の1に中消防署北出張所新設、同所に35m級梯子車配備
東消防署佐保出張所に救急自動車配備
5月 第1回救急救命士国家試験合格 1名
6月 学園前保育園幼年消防クラブ発足 50名
11月 第2回救急救命士国家試験合格 1名
5年 3月 日本損害保険協会より救急普及啓発広報車の寄贈
4月 消防職員定数 302名
高規格救急自動車（1台）購入 救急救命士の業務開始
6月 みずほ保育園幼年消防クラブ発足 30名
10月 日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（CD-1）の寄贈
6年 4月 消防職員定数 317名
応急手当普及啓発活動の開始
第5回救急救命士国家試験合格 1名
7年 1月 阪神大震災が発生し応援要請を受け職員を派遣
4月 第七代消防長に古田育宏氏就任
第7回救急救命士国家試験合格 1名
消防職員定数 344名
7月 財団法人奈良市防災センター設立 初代理事長に森井堯運氏就任
8月 奈良市防災センター（消防本部同一敷地内）運用開始
8年 3月 通信指令室を奈良市防災センター3階に移転し奈良市消防通信指令総合システム運用開始
災害対応特殊救急自動車（1台購入） 東消防署に配備
警防課に後方支援車を配備
4月 第八代消防長に林茂樹氏就任
大柳生町1232番地に東消防署東部出張所新設
6出張所の所長に消防司令を配置
通信指令室に管理係を設置
第9回救急救命士国家試験合格 2名
消防職員定数 344名
5月 県下の消防本部を設置している市町村相互間において、奈良県消防広域相互応援協定締結
9年 2月 特別表彰「まとい」受章
4月 消防職員定数 354名
消防署の主幹を廃止し、副署長を置く。
第11回救急救命士国家試験合格 1名
東大阪市、生駒市及び奈良市は、第二阪奈有料道路における消防相互応援協定を締結

5月 情報収集用二輪車（オフロードバイク）3台購入

10年 2月 市政100周年を迎える。

3月 ならまち消防ポンプ収納庫設置（飛鳥小学校）

4月 消防長事務取扱に桐木弘助役就任
奈良市消防本部を奈良市消防局に名称変更
中消防署北出張所を北消防署に昇格
警防課特別消防救助隊を救急救助課に改組
通信指令室を指令課に名称変更
文化財防災官1名（消防司令長）を設置
第13回救急救命士国家試験合格 1名
奈良県防災ヘリコプター導入に伴い隊長（司令長級）1名派遣

7月 第四代消防団長に辰巳道憲氏就任

10月 愛の園保育園幼年消防クラブ発足 10名
中登美保育園幼年消防クラブ発足 37名

11月 第14回救急救命士国家試験合格 1名

12月 「古都奈良の文化財」8資産群がユネスコの世界遺産に登録

11年 3月 第九代消防長に松田久雄氏就任
西消防署に高規格救急自動車を配備
防災ヘリコプター運用に伴い、奈良県（防災航空隊）と奈良県防災ヘリコプター応援協定を締結

4月 消防局に理事を置く。
指令課を三部制にし、指令第三係を新設
世界遺産登録社寺（6社寺）に小型動力ポンプを配備 6台
第15回救急救命士国家試験合格 3名

12年 4月 消防局に職員課及び職員厚生係を新設し、消防総務部（総務課、職員課）と生活安全部（警防課、救急救助課、予防課、指令課）に改組
東消防署佐保出張所を北消防署佐保出張所に変更

5月 第17回救急救命士国家試験合格 1名

11月 第18回救急救命士国家試験合格 1名

13年 4月 4出張所（南部、東部、西大寺、佐保）を分署に名称変更し南部分署に救急隊を配置
東・中消防署に特別救助隊各1隊配置
国際消防救助隊に隊員8名が登録
第4回全国消防音楽隊フェスティバル参加（神戸市）

5月 第19回救急救命士国家試験合格 1名

11月 高所救助放水車購入

14年 4月 奈良市が中核市に移行
第21回救急救命士国家試験合格 2名

11月 消防音楽隊が発足15周年記念「市民ふれあいコンサート」を開催

15年 4月 第十代消防長に佐賀勝彦氏就任
第23回救急救命士国家試験合格 2名 計19名

15年 5月 第24回救急救命士国家試験合格 1名 計20名

16年 4月 第25回救急救命士国家試験合格 1名 計21名
7月 平成16年7月福井豪雨に伴い、緊急消防援助隊奈良県大隊として奈良市消防局から11名が福井県福井市及び足羽郡美山町（現福井市美山町）へ出動

10月 第26回救急救命士国家試験合格 1名 計22名
第5回全国消防音楽隊フェスティバル参加（浜松市）

12月 消防職員定数394人

17年 2月 東消防署に高規格救急自動車を配備
3月 西消防署に30m級梯子付消防自動車を配備
4月 奈良市・都祁村・月ヶ瀬村が合併
東消防署を中央消防署に、中消防署を南消防署に変更

山辺広域行政事務組合消防本部より引継いだ都祁消防署を東消防署に、山辺広域行政事務組合消防本部より引継いだ月ヶ瀬分遣所を東消防署月ヶ瀬分署として運用開始
北消防署佐保分署を中央消防署佐保分署に、中消防署西大寺分署を南消防署西大寺分署に変更（消防体制：5消防署5分署1出張所）
第五代消防団長に窪田康男氏就任
第27回救急救命士国家試験合格 1名 計23名

8月 奈良県遊技業協同組合より指令車（1台）寄贈され、中央消防署に配備

18年 3月 高規格救急自動車（1台）購入 中央消防署に配備
奈良市消防通信指令システムが更新され運用開始
中央消防署新庁舎（奈良市西木辻町）が完成し運用開始

4月 専任女性救急隊員2名（隔日勤務）を中央消防署に配置
第28回救急救命士国家試験合格 2名 計25名

5月 第29回救急救命士国家試験合格 3名 計28名

6月 奈良県遊技業協同組合より指令車（1台）寄贈され、警防課に配備

19年 4月 第十一代消防長に猪岡秀夫氏就任
第六代消防団長に黒文雄氏就任
専任女性救急隊員1名（隔日勤務）を南消防署に配置

5月 第30回救急救命士国家試験合格 3名 計31名

20年 4月 消防職員定数394人
部制（消防総務部、生活安全部）を廃止し災害対策室を設置する。
局及び署を担当する次長を置く。
職員課を廃止
総務課においてグループ制を導入
警防課を消防課に名称変更し、消防係と防災係を統合し消防防災係に、機械係を施設係に変更
予防課において予防係と査察係を統合し予防査察係に、建築係と危険物係を統合し指導係に変更
消防署において警防係を消防救急係に、救急救助係を救助係に、分署において警防救急係を消防救急係に、出張所において警防係を消防係に変更
総務省消防庁へ職員1名派遣
奈良市消防音楽隊に副隊長を置く。

5月 第31回救急救命士国家試験合格 3名 計 34名

21年 3月 消防音楽隊に演奏活動用新型バスが配備
4月 消防職員定数394人
救急救助課を救急課に名称変更し、救急係及び救助係を廃止し、救急管理係、救急指導係を置く。
消防課に救助係を置く。
中央消防署及び西消防署に3部制の救急隊を置く。
奈良市消防団に初の女性消防分団（広報指導分団39名）が発足

5月 第32回救急救命士国家試験合格 3名 計 37名

7月 奈良県遊技業協同組合より救急自動車（1台）寄贈され、西大寺分署に配備

22年 2月 東消防署月ヶ瀬分署にCD-I型消防ポンプ自動車を配備
3月 南消防署に救助工作車III型を配備
4月 第十二代消防長に野口隆身氏就任
消防職員定数412人
消防局に救急業務及び指令管制業務を統括する情報救急室を新設し、情報救急室（救急課、指令課）と災害対策室（消防課、予防課）に改組
消防局全課にグループ制（担当制）を導入
次長（消防局、消防署担当）を廃止し、副局長、消防危機統制監を置く。
総務省消防庁へ職員1名派遣
消防課に指揮救助隊を置く。
南消防署に高度救助隊を配置
西消防署富雄出張所を西消防署富雄分署に変更し救急隊を配置

中央消防署及び西消防署の救急隊を2部制に変更
西消防署富雄分署に高規格救急自動車を配備
5月 第33回救急救命士国家試験合格 4名 計41名
6月 中央消防署に災害対応特殊救急自動車を配備
7月 第16回全国女性消防団員活性化奈良大会を開催
10月 第6回全国消防音楽隊フェスティバルを開催（全国より21隊出演）
市立奈良病院にドクターカーを配備し運用を開始（週3日）
11月 第22回全国消防操法大会（愛知県蒲郡市）に奈良市消防団柳生分団が出場
23年 2月 東消防署東部分署にCD-I型消防ポンプ自動車を配備
東消防署に救助工作車I型を配備
3月 消防団LIVE2011in奈良を開催
東北地方太平洋沖地震が発生し、緊急消防援助隊奈良県隊（第三次隊まで派遣）として奈良市消防局から62名が宮城県亘理郡山元町へ出動
4月 消防職員定数412人
消防課指揮救助隊のかいに指揮支援隊を置く。
消防署組織の係制を廃止し、担当及び小隊制を導入するとともに、複数小隊を管理する中隊長を置く。
東消防署に高規格救急自動車を配備
日本消防協会へ職員1名派遣
ドクターカーの運用を週3日から週4日に変更
5月 全国共済農業協同組合連合会奈良県本部より高規格救急自動車（1台）寄贈され西消防署に配備
第34回救急救命士国家試験合格 3名 計44名
24年 4月 第十三代消防長に徳岡泰博氏就任
消防職員定数412人
(財)奈良市防災センターが解散し、総務課のかいに防災センターを置く
ドクターカーの運用を週4日から週5日に変更
総務省消防庁へ職員1名派遣
第35回救急救命士国家試験合格 3名 計46名
5月 消防課に指揮支援車を配備
9月 総務省消防庁より燃料補給車配備（緊急消防援助隊活動用車両として無償使用）
11月 奈良市消防局、相楽中部消防組合消防本部で初の「合同消防フェア」を開催
25年 3月 第1回奈良市消防団活性化大会を開催し県下で初めて消防団協力事業所を認定
総務省消防庁より支援車I型配備（緊急消防援助隊活動用車両として無償使用）
4月 消防職員定数412人
第七代消防長に川寄政信氏就任
第36回救急救命士国家試験合格 3名 計49名
総務省消防庁より可搬型衛星基地局配備（緊急消防援助隊活動用車両として無償使用）
9月 西消防署新庁舎が完成（鶴舞西町）し運用開始
11月 消防団120周年・自治体消防65周年記念奈良県消防大会
12月 日本消防協会より防災活動車配備
26年 3月 総務省消防庁より救助資機材搭載型消防ポンプ自動車及び資機材保管備蓄倉庫一式配備
第2回奈良市消防団活性化大会を開催
南消防署に20m級屈折はしご付消防車を配備
4月 第十四代消防長に酒井孝師氏就任
消防職員定数412人
ドクターカーの運用を週5日から週6日に変更
第37回救急救命士国家試験合格 3名 計58名（新規採用者含む）
総務省消防庁へ職員1名派遣
5月 救急隊による搬送先病院、直接交渉開始
8月 「消防団を中心とした地域防災力充実強化大会」に参加

10月 女性防災クラブ30周年記念式典をならまちセンターで開催

27年 2月 第3回奈良市消防団活性化大会「消防団とD.M.A.T・D.P.A.T合同訓練」を実施

4月 消防職員定数412人
第38回救急救命士国家試験合格 4名 計62名（新規採用者含む）

12月 災害対応特殊化学消防ポンプ自動車II型を購入し中央消防署に配備

28年 2月 第4回奈良市消防団活性化大会「消防団とD.M.A.T・D.P.A.T合同訓練」を実施

3月 西消防署に救助工作車II型を配備

4月 消防職員定数412人（実員数385人）
消防局組織改編を実施し当直勤務者のシフトを2部制から3部制に変更
奈良市生駒市消防指令センター共同運用開始
総務省消防庁へ職員1名派遣
第39回救急救命士国家試験合格 5名 計65名

10月 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練を奈良県で開催

12月 消防本部における女性消防吏員の活躍推進に向けた積極的広報として「ワンディインターナンシップ京都会場」にブース初出展

29年 2月 第5回奈良市消防団活性化大会「奈良市消防団を中心とした地域防災力強化訓練」を開催

3月 南消防署に高規格救急自動車を配備
消防庁長官竿頭授賞
第7回全国消防音楽隊フェスティバル参加（豊中市）

4月 第十五代消防長に藤村正弘氏就任
消防職員定数412人（実員数378人）
第40回救急救命士国家試験合格 3名 計70名（新規採用者含む）

11月 西消防署富雄分署に高規格救急自動車を配備

30年 2月 第6回奈良市消防団活性化大会「～守ろう我が町、我が地域～」を開催

4月 中央消防署南部分署にCD-I型消防ポンプ自動車を配備
消防職員定数412人（実員数374人）
総務省消防庁へ職員1名派遣
第41回救急救命士国家試験合格 3名 計74名（新規採用者含む）
月ヶ瀬分署に救急救命士を配置し5署6分署すべてに救急救命士を配置

7月 平成30年7月豪雨に伴い、緊急消防援助隊奈良県大隊（第三次隊まで派遣）として奈良市消防局から60名が岡山県倉敷市真備町へ出動

11月 全国初の取組みとして「市民メディカルラリー」2018を第7回奈良市消防団活性化大会と併せてイオンモール高の原にて開催

31年 1月 中央消防署に高規格救急自動車を配備
2月 中央消防署佐保分署に災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD-I型）を配備
3月 西消防署に災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車（I-B型）を配備
4月 第十六代消防長に西岡光治氏就任
消防職員定数412人（実員数375人）
第八代消防団長に中室貞浩氏就任
第42回救急救命士国家試験合格 3名 計82名（新規採用者含む）

令和元年 7月 相楽中部消防組合とはしご付消防自動車の共同運用連携協約を締結

11月 奈良市ジュニア防災クラブ結成

2年 2月 西消防署に災害対応特殊救急自動車を配備
第8回奈良市消防団活性化大会「令和元年度消防団長会北和ブロック訓練」を布目ダムにて開催

3月 中央消防署南部分署に高規格救急自動車を配備
4月 消防職員定数412人（実員数384人）
総務省消防庁へ職員1名派遣
第43回救急救命士国家試験合格 3名 計83名（新規採用者含む）
奈良市消防団に初の機能別分団（学生消防分団15名）として発足
相楽中部消防組合とはしご付消防自動車の共同運用開始

11月

3年 3月 総務省消防庁より中型水陸両用車及び搬送車配備（緊急消防援助隊活動用車両として無償使用）
中央消防署佐保分署に高規格救急自動車を配備
4月 第十七代消防長に東川洋志氏就任
消防職員定数 412人（実員数 388人）
第44回救急救命士国家試験合格 2名 計84名（新規採用者含む）
6月 仮想体験付起震コンテナ（愛称「Bousai キャラバン号」）運用開始
12月 南消防署西大寺分署に高規格救急自動車を配備

4年 3月 南消防署に災害対応特殊化学消防ポンプ自動車II型を配備
4月 消防職員定数 412人（実員数 393人）
文部科学省文化庁へ職員 1名派遣
総務省消防庁へ職員 1名派遣（女性職員）
第45回救急救命士国家試験合格 3名 計90名（新規採用者含む）
11月 地域防災力充実強化大会 in 奈良 2022 を開催

5年 2月 北消防署に災害対応特殊救急自動車を配備
3月 西消防署に災害対応特殊消防ポンプ自動車を配備
総務省消防庁より防災学習車配備
4月 第十八代消防長に北昌男氏就任
消防職員定数 412人（実員数 387人）
第46回救急救命士国家試験合格 6名 計95名（新規採用者含む）
南消防署に日勤救急小隊を配置
奈良市防災センターを廃止し、奈良市消防局第2庁舎へ名称変更
奈良市消防団に機能別分団（地域支援消防分団 19名）を発足
奈良市消防団に情報収集部隊を置く

12月 中央消防署、南消防署、西消防署富雄分署、東消防署に高規格救急自動車を配備

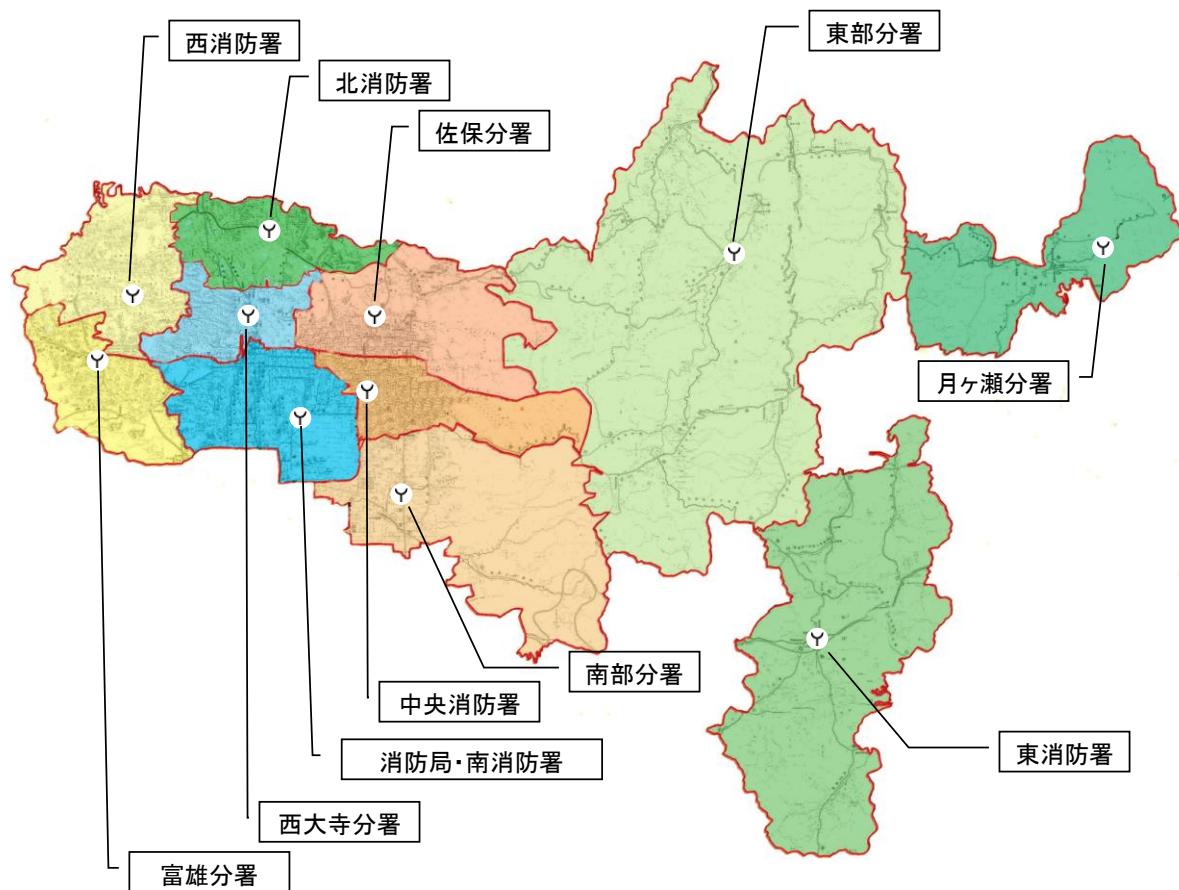
6年 1月 能登半島地震が発生し、緊急消防援助隊奈良県大隊（第四次隊まで派遣）として奈良市消防局から
85名が石川県輪島市他へ出動
4月 消防職員定数 412人（実員数 392人）
第47回救急救命士国家試験合格 4名 計99名（新規採用者含む）
西消防署に日勤救急小隊を配置
文部科学省文化庁へ職員 1名派遣
総務省消防庁へ職員 1名派遣
南消防署の高度救助隊を廃止し、中央消防署の特別救助隊を高度救助隊に、西消防署の救助隊を特
別救助隊に変更
消防課指揮支援隊を廃止し、消防課本部指揮隊を置く

10月 東消防署に小型動力ポンプ付水槽車を配備

7年 2月 西消防署に災害対応特殊救急自動車を配備
3月 東消防署東部分署に高規格救急自動車を配備
4月 第十九代消防長に山崎恒寛氏就任
消防職員定数 412人（実員数 399人）
第九代消防団長に窪田喜彦氏就任
第48回救急救命士国家試験合格 6名 計106名（新規採用者含む）
東消防署東部分署にCD-I型消防ポンプ自動車を配備
奈良市消防団に重機対応部隊を置く
9月 中央消防署に災害対応特殊消防ポンプ自動車を配備

3 消防機関配置図

(1) 局、署所配置図



市勢

面 積	2 7 6 . 9 4 k m ²	東西 3 3 . 5 1 k m	南北 2 2 . 2 2 k m
	東 経	1 3 5 ° 4 8 '	
	北 緯	3 4 ° 4 1 '	
人 口	令和 7 年	令和 6 年	前年との比較
	男	1 6 1 , 3 8 6 人	△ 1 , 2 7 3
	女	1 8 4 , 6 3 8 人	△ 9 8 8
	計	3 4 6 , 0 2 4 人	△ 2 , 2 6 1
世 带 数	1 6 8 , 7 2 2	1 6 7 , 7 8 7	9 3 5

(人口・世帯数は各年 4月 1日現在)

(2) 消防施設



消防局・南消防署併設庁舎



南消防署西大寺分署



消防局第2庁舎



中央消防署南部分署



中央消防署



中央消防署佐保分署



西消防署



西消防署富雄分署



北消防署



東消防署東部分署



東消防署



東消防署月ヶ瀬分署

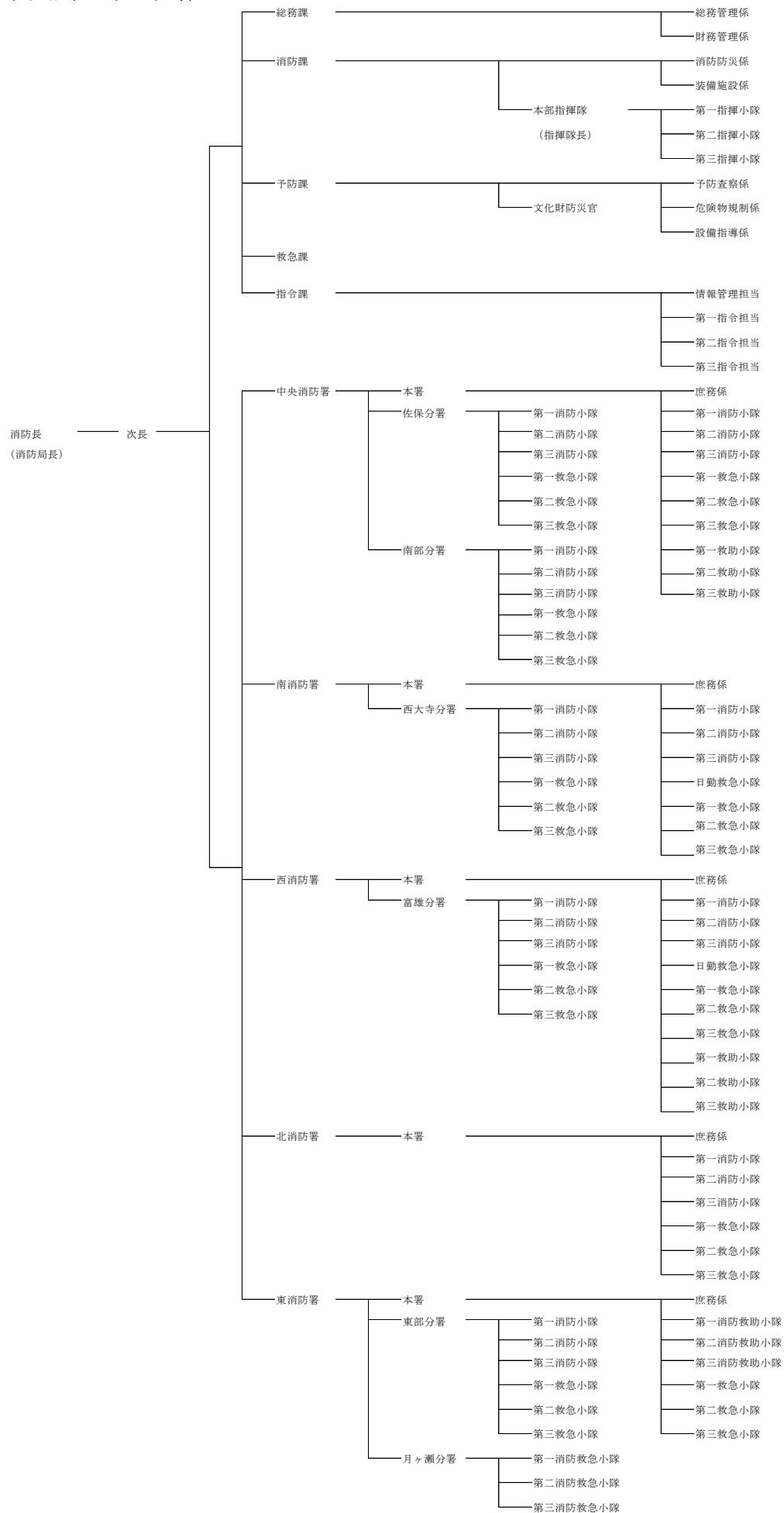
施設名	所在地	構造	敷地面積 (m ²)	建物延べ面積 (m ²)	竣工年月日
消防局・南消防署	八条五丁目 404 番地の 1 0742(35)1191(代表)	R C 造 5階建	6,622.12	2,431.65	昭和 58 年 10 月
消防局第 2 庁舎	同 上	S R C 造 4階建	消防局 同一敷地	3,021.37	平成 7 年 6 月
南消防署西大寺分署	二条町二丁目 1 番 1 号 0742(33)4605	R C 造 3階建	454.80	564.33	平成 4 年 1 月
中央消防署	西木辻町 43 番地の 1 0742(22)7051	R C 造 3階建	1,333.05	1,405.20	平成 18 年 3 月
中央消防署佐保分署	法蓮町 926 番地の 4 0742(22)7055	R C 造 2階建	1,471.05	399.75	平成元年 8 月
中央消防署南部分署	横井五丁目 497 番地の 3 0742(61)7025	R C 造 2階建	1,088.93	500.40	昭和 62 年 4 月
西消防署	鶴舞西町 1 番 19 号 0742(45)7621	R C 造 2階建	2,144.40	1,185.69	平成 25 年 9 月
西消防署富雄分署	三碓六丁目 10 番 40 号 0742(47)7119	R C 造 2階建	1,234.99	500.40	昭和 60 年 12 月
北消防署	右京二丁目 1 番地の 1 0742(71)9119	R C 造 2階建	4,218.19	1,008.87	平成 4 年 3 月
東消防署	針町 647 番地の 1 0743(82)0513	R C 造 2階建	1,469.95	587.05	昭和 53 年 5 月
東消防署東部分署	大柳生町 1232 番地 0742(93)0119	R C 造 2階建	1,019.66	492.36	平成 8 年 3 月
東消防署月ヶ瀬分署	月ヶ瀬尾山 3395 番地の 2 0743(92)0945	R C 造 2階建	559.00	249.09	昭和 57 年 4 月

總務關係



「局長訓示」

4 奈良市消防局の組織



5 事務分掌

消 防 局	総務課	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公印の管守に関すること。 2. 文書の収発及び保存整理に関すること。 3. 消防長会に関すること。 4. 消防団に関すること。 5. 局の総合企画及び基本施策に関すること。 6. 消防関係条例、規則、規程等の審査及び制定改廃手続に関すること。 7. 消防統計に関すること。 8. 業務改善及び事務能率の増進に関すること。 9. 消防音楽隊に関すること。 10. 消防広報に関すること。 11. 市民の要望及び相談の処理に係る事務の統轄に関すること。 12. 職員の任免、分限、懲戒その他勤務条件に関すること。 13. 職員の配置及び勤務に関すること。 14. 職員の給与、その他の給付の規定、裁定及び支給に関すること。 15. 表彰に関すること。 16. 研修及び研修計画に関すること。 17. 職員の公務災害補償に関すること。 18. 公務による交通事故の処理及び賠償に関すること（消防課の主管に属するものを除く。）。 19. 職員の福利厚生に関すること。 20. 職員の健康及び安全衛生管理に関すること。 21. 職員の服務規律等に関すること。 22. 庁中管理の統轄に関すること。 23. 消防職員委員会に関すること。 24. 予算の編成及び執行並びに決算事務の総括に関すること。 25. 職員の給貸与品に関すること。 26. 他の課の主管に属しないこと。 27. 課の庶務に関すること。
	消防課	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害の警備に関すること。 2. 災害対策の連絡及び調整に関すること。 3. 非常警防体制及び特別警戒体制の実施に関すること。 4. 消防相互応援協定に関すること。 5. 地域防災計画及び水防計画に関すること。 6. 都市計画法（昭和43年法律第100号）に基づく開発行為に係る同意に関すること。 7. 消防水利の開発及び保全に関すること。 8. 水防資器材の整備保全に関すること。 9. 防災総合訓練等に関すること。 10. 消防車両等の配置計画に関すること。 11. 消防機械器具の整備及び整備技術の指導に関すること。 12. 特殊な消防機械器具の操作技術の指導に関すること。 13. 消防車両等の燃料に関すること。 14. 消防車両等の登録及び検査等に関すること。 15. 車両管理の総括に関すること。 16. 公務による交通事故の物損処理に関すること。 17. 課の庶務に関すること。
	本部指揮隊	<ol style="list-style-type: none"> 1. 救助対策及び救助活動に関すること。 2. 救助隊の教育訓練及び救助技術に関すること。 3. 救助機械器具の整備保全及び操作技術の指導に関すること。 4. 救助統計に関すること。 5. 救助の警備計画に関すること。 6. 緊急消防援助隊に関すること。 7. 国際消防救助隊に関すること。 8. 災害現場の指揮に関すること。 9. 灾害現場の安全管理及び現場指揮体制の調査研究に関すること。 10. 灾害現場の情報収集及び現場広報に関すること。 11. 灾害の警戒及び防除に関すること。 12. 消防活動技術の研究に関すること。 13. 火災防御検討会に関すること。 14. 警防計画及び訓練に関すること。 15. 隊の庶務に関すること。

消 防 局	予防課	<ol style="list-style-type: none"> 1. 火災予防施策の計画立案に関すること。 2. 火災予防の対策及び広報に関すること。 3. 防火管理者資格講習及び指導に関すること。 4. 火災原因及び損害の調査に関すること。 5. 火災警報の発令に関すること。 6. 予防統計に関すること。 7. 女性防災クラブに関すること。 8. 住宅防火に関すること。 9. 住宅用火災警報器の普及促進に関すること。 10. 危険物の許可、認可及び規制に関すること。 11. 指定可燃物その他特殊な物質の防火に関すること。 12. 危険物取扱者等及び危険物施設の管理者の指導に関すること。 13. 液化石油ガスその他の高圧ガスの防火指導に関すること。 14. 危険物の灾害予防対策及び調査研究に関すること。 15. 建築物の確認、許可及び認可の同意に関すること。 16. 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。 17. 建築物の防火に関すること。 18. 防火対象物の使用届出等に関すること。 19. 防炎規制の指導に関すること。 20. 予防査察の計画、実施及び指導に関すること。 21. 防火対象物の違反処理に関すること。 22. 課の庶務に関すること。
防 局	救急課	<ol style="list-style-type: none"> 1. 救急業務の基本計画に関すること。 2. 救急隊の運用に関すること。 3. 救急情報の収集及び救急統計に関すること。 4. 救急医療関係機関等との連絡及び調整に関すること。 5. 救急隊員の感染防止対策及び健康管理に関すること。 6. 救急資機材の配置及び開発に関すること。 7. 救急業務の需要に係る対策に関すること。 8. 救急救命士及び救急隊の教育訓練に関すること。 9. 救急医療及び救急技術の調査研究に関すること。 10. 応急手当の普及啓発活動に関すること。 11. 患者搬送事業に関すること。 12. メディカルコントロール体制（医療機関等との連携により救急業務の質的向上を図る体制をいう。）に関すること。 13. 救急業務の高度化推進に関すること。 14. 救急ワークステーション設置準備に関すること。 15. ドクターカー運用に関すること。 16. 課の庶務に関すること。
	指令課	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電子計算機器及び入出力媒体の管理に関すること。 2. 電子計算機器処理に係る情報の管理に関すること。 3. 端末機の操作研修及びパスワードの管理に関すること。 4. その他電子計算機器の運用に関すること。 5. 水火災、救急その他の災害の受報及び出動指令に関すること。 6. 通信施設及び器具の運用管理に関すること。 7. 消防隊等の出動の統制的運用に関すること。 8. 水火災、救急その他の災害の現場の通信統制に関すること。 9. 水火災、救急その他の災害の現場の情報収集及び連絡に関すること。 10. 職員の非常招集に関すること。 11. 医療機関等との連絡及び協調に関すること。 12. 通信施設の技術研究及び指導に関すること。 13. 防災気象の通信連絡に関すること。 14. 課の庶務に関すること。

		<ol style="list-style-type: none"> 1. 火災予防の対策及び広報に関すること。 2. 査察に関すること。 3. 防火対象物の設備及び防火管理者の指導に関すること。 4. 消防用設備等の設置の指導及び点検結果報告に関すること。 5. 予防統計に関すること。 6. 火災その他の災害の調査に関すること。 7. 火災原因及び損害の調査に関すること。 8. 署の事務の企画調整に関すること。 9. 公務による交通事故の処理に関すること。 10. 署の庶務に関すること。 11. 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関すること。
	(中央・南・西・北消防署)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 警防計画及び訓練に関すること。 2. 火災その他の災害の警戒及び防御に関すること。 3. 消防地水利の開発、調査及び保全に関すること。 4. 消防の機械器具の整備及び保全に関すること。 5. 査察及びその他の防火指導に関すること。 6. 所轄に係る消防団の連絡及び協力等に関すること。 7. 自衛消防隊の訓練の指導に関すること。 8. 消防相談に関すること。 9. 火災その他の災害の調査に関すること。 10. 職員の非常招集に関すること。 11. 署所の軽微な庁中管理に関すること。 12. 公務による交通事故の物損処理に関すること。 13. 火災原因及び損害の調査に関すること。 14. 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関すること。
消防署	救助小隊 (中央・西消防署)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害現場の安全管理に関すること。 2. 救助訓練に関すること。 3. 人命の救助及び防火に関すること。 4. 救助の機械器具の整備保全に関すること。 5. 救助の報告に関すること。 6. 緊急消防救援隊の出動に関すること。 7. 国際消防救助隊の派遣に関すること。 8. 署所の軽微な庁中管理に関すること。 9. 公務による交通事故の物損処理に関すること。 10. 救助技術に関すること。 11. 火災原因及び損害の調査に関すること。 12. 火災その他の災害の調査に関すること。 13. 査察及びその他の防火指導に関すること。 14. 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関すること。
	消防救助小隊 (東消防署)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 警防計画及び訓練に関すること。 2. 火災その他の災害の警戒及び防御に関すること。 3. 消防地水利の開発、調査及び保全に関すること。 4. 機械器具の整備及び保全に関すること。 5. 査察及びその他の防火指導に関すること。 6. 所轄に係る消防団の連絡及び協力等に関すること。 7. 自衛消防隊の訓練の指導に関すること。 8. 消防相談に関すること。 9. 火災その他の災害の調査に関すること。 10. 職員の非常招集に関すること。 11. 署所の軽微な庁中管理に関すること。 12. 公務による交通事故の物損処理に関すること。 13. 火災原因及び損害の調査に関すること。 14. 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関すること。 15. 災害現場の安全管理に関すること。 16. 救助訓練に関すること。 17. 人命の救助及び防火に関すること。 18. 救助の報告に関すること。 19. 緊急消防救援隊の出動に関すること。 20. 国際消防救助隊の派遣に関すること。 21. 救助技術に関すること。
	救急小隊	<ol style="list-style-type: none"> 1. 救急の機械器具の整備及び保全に関すること。 2. 救急対策及び救急処置に関すること。 3. 救急の報告に関すること。 4. 救急統計に関すること。 5. 公務による交通事故の物損処理に関すること。 6. 火災その他の災害の調査に関すること。

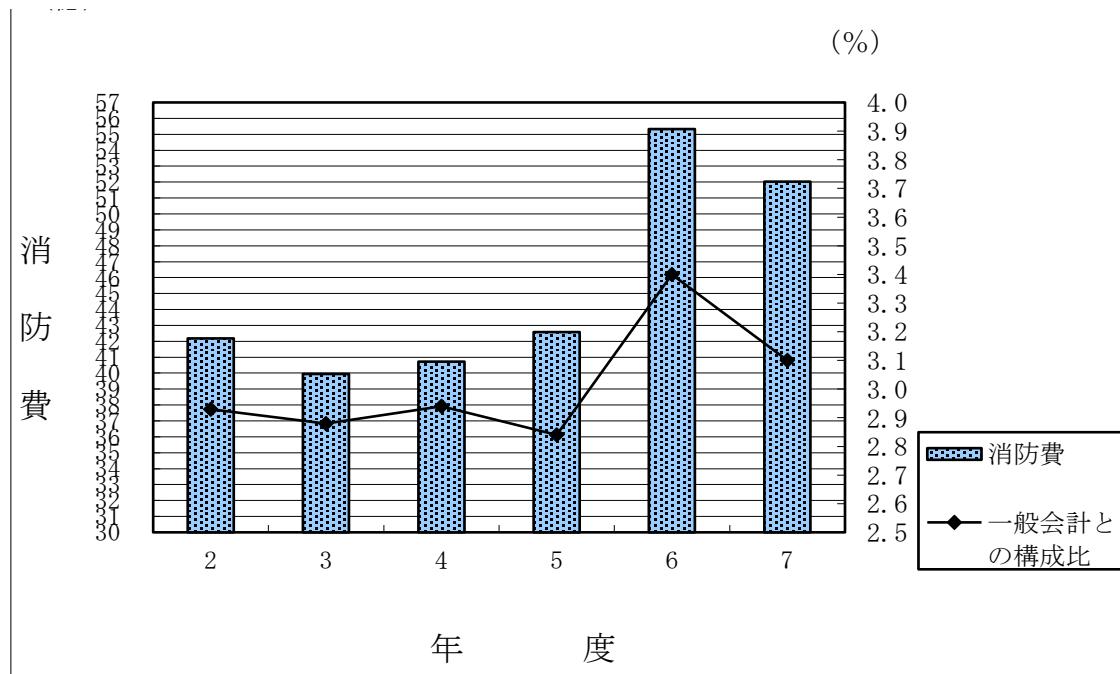
分 署	佐保・南部・西大寺・富雄・東部分署	消防小隊	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書の収発及び保管整理に関する事。 2. 警備計画及び訓練に関する事。 3. 火災その他の災害の警戒及び防御に関する事。 4. 消防水利の調査及び保全に関する事。 5. 査察及びその他の防火指導に関する事。 6. 消防の機械器具の整備及び保全に関する事。 7. 所轄に係る消防団の連絡及び協力等に関する事。 8. 自衛消防隊の訓練及び指導に関する事。 9. 火災その他の災害の調査に関する事。 10. 消防相談に関する事。 11. 署所の軽微な庁中管理に関する事。 12. 火災原因及び損害の調査に関する事。 13. 公務による交通事故の物損処理に関する事。 14. 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関する事。 15. その他管内の消防及び救急業務に関する事。
		救急小隊	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書の収発及び保管整理に関する事。 2. 救急対策及び救急処置に関する事。 3. 救急の機械器具の整備及び保全に関する事。 4. 火災その他の災害の調査に関する事。 5. 消防相談に関する事。 6. 署所の軽微な庁中管理に関する事。 7. 公務による交通事故の物損処理に関する事。 8. 救急統計に関する事。 9. その他管内の救急業務に関する事。
	月ヶ瀬分署	消防救急小隊	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書の収発及び保管整理に関する事。 2. 警備計画及び訓練に関する事。 3. 火災その他の災害の警戒及び防御に関する事。 4. 消防水利の調査及び保全に関する事。 5. 査察及びその他の防火指導に関する事。 6. 救急対策及び救急処置に関する事。 7. 救急及び消防機械器具の整備保全に関する事。 8. 所轄に係る消防団の連絡及び協力等に関する事。 9. 自衛消防隊の訓練及び指導に関する事。 10. 火災その他の災害の調査に関する事。 11. 消防相談に関する事。 12. 署所の軽微な庁中管理に関する事。 13. 火災原因及び損害の調査に関する事。 14. 公務による交通事故の物損処理に関する事。 15. 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関する事。 16. 救急統計に関する事。 17. その他管内の消防及び救急業務に関する事。

6 消防予算

(1) 一般会計予算額と消防費との比較

区分 年度	一般会計 (千円)	消防費 (千円)	構成比 (%)
令和 2 年度	144,100,000	4,218,313	2.93
令和 3 年度	138,840,000	3,995,202	2.88
令和 4 年度	138,620,000	4,071,146	2.94
令和 5 年度	149,980,000	4,257,127	2.84
令和 6 年度	162,950,000	5,533,724	3.40
令和 7 年度	167,288,148	5,201,804	3.11

(2) 消防費予算の一般会計に対する比率の推移



(3) 消防予算の内訳及び前年度との比較（当初予算）

科目	年度	令和 7 年度 (千円)	令和 6 年度 (千円)	比較増減 (千円)
一般会計		167, 288, 148	162, 950, 000	4, 338, 148
消防費		5, 201, 804	5, 533, 724	△331, 920
内訳	常備消防費	4, 023, 621	3, 790, 117	233, 504
	非常備消防費	161, 968	158, 665	3, 303
	水防費	109	106	3
	消防施設維持費	4, 770	4, 770	—
	消防施設費	1, 011, 336	1, 580, 066	△568, 730

(4) 消防費に対する人口・世帯当たり額

区分 年度	消防費 (千円)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	1人当たり (円)	1世帯当たり (円)
令和 2 年度	4, 218, 313	355, 529	163, 991	11, 865	25, 723
令和 3 年度	3, 995, 202	354, 287	165, 360	11, 277	24, 161
令和 4 年度	4, 071, 146	352, 264	165, 923	11, 557	24, 536
令和 5 年度	4, 257, 127	350, 318	166, 927	12, 152	25, 503
令和 6 年度	5, 533, 724	348, 285	167, 787	15, 888	32, 981
令和 7 年度	5, 201, 804	346, 024	168, 722	15, 033	30, 831

(人口及び世帯数は各年度の 4 月 1 日現在)

(5) 消防費性質別予算額

(千円)

科目	令和 7 年度		令和 6 年度		増減	
	額(A)	割合(%)	額(B)	割合(%)	(A)-(B)	増減比(%)
消防費	5, 201, 804	100.0	5, 533, 724	100.0	△331, 920	△6.0
人件費	3, 629, 568	69.8	3, 379, 221	61.1	250, 347	7.4
維持補修費	4, 770	0.1	4, 770	0.1	0	0.0
物件費	947, 462	18.2	488, 470	8.8	458, 992	94.0
補助費等	280, 082	5.4	81, 197	1.5	198, 885	244.9
普通建設事業費	1, 011, 336	19.4	1, 580, 066	28.6	△568, 730	△36.0

7 職員の階級別配置状況

(令和7年4月1日現在)

所属等	区分	合	消	次	署 長		主 幹	補 佐	係 長	係 員			
			防	長	課 長	副署長	防災官	主 査		消防士	消防副士長	消防士	
合 計		392	1	1	5	5	12	51	97	123	1	96	
局	局 長		1	1									
	次 長		1		1								
	総務課	26				1	1	2	4	9		9	
	消防課	19				1	3	4	8	3			
	予防課	11				1		2	3	5			
	文化財防災官	(1)						(1)					
	救急課	9				1		1	2	4		1	
	指令課	18				1	3	4	4	5		1	
	小 計	85	1	1		5	7	13	21	26		11	
署	中央消防署	本 署	89	47		1		1	4	10	19		12
	佐保分署			21 (22)				(1)	3	6	4		8
	南部分署			21 (22)				(1)	3	6	6		6
	南消防署	本 署	56	35		1		1	4	8	10		11
	西大寺分署			21 (22)				(1)	3	6	6		6
	西消防署	本 署	71	50		1		1	4	11	16		17
	富雄分署			21 (22)				(1)	3	6	6		6
	北消防署		29	29		1		1	4	7	8		8
	東消防署	本 署	62	29		1		1	4	7	10		6
	東部分署			21 (22)				(1)	3	6	7		5
	月ヶ瀬分署			12 (13)				(1)	3	3	5	1	
小 計			307		5		5	38	76	97	1	85	
条例定数								412					

(注) 市長部局へ7名出向及び文部科学省文化庁へ1名出向(定数外)、市長部局からの出向2名含、文化財防災官、佐保分署長、南部分署長、西大寺分署長、富雄分署長、東部分署長及び月ヶ瀬分署長は事務取扱。

8 職員の階級別勤続年数調べ

(令和7年4月1日現在)

階級別 年数別	計	消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監
計	392	96	1	123	97	51	17	6	1
1年	24	24							
2年	14	12		1	1				
3年	20	20							
4年	16	16							
5年	12	12							
6年	15	9		6					
7年	5	2		3					
8年	4	1		3					
9年	2			2					
10年	2			2					
11年	14			14					
12年	12			12					
13年	12			11	1				
14年	9			9					
15年	14			14					
16年	13			12	1				
17年	18			13	5				
18年	7			3	4				
19年	9				9				
20年	15			2	13				
21年	4				4				
22年	5				5				
23年	0								
24年	0								
25年	1				1				
26年	0								
27年	0								
28年	16			5	7	4			
29年	0								
30年	24			2	14	8			
31年	16			4	4	5	3		
32年	22			2	5	12	3		
33年	16		1		6	7	2		
34年	11			1	2	5	3		
35年	11			1	3	4	1	2	
36年	1					1			
37年	11			1	3	3	3	1	
38年	0								
39年	9				4	1	1	2	1
40年	3				2		1		
41年	2					1		1	
42年	3				3				
43年	0								
44年	0								
45年	0								
46年	0								
47年	0								
48年以上	0								

(注) 市長部局へ7名出向及び文部科学省文化庁へ1名出向(定数外)、市長部局からの出向2名含。

9 職員の階級別年令調べ

(令和7年4月1日現在)

階級別 年令別	計	消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監
計	392	96	1	123	97	51	17	6	1
18歳	2	2							
19歳	1	1							
20歳	1	1							
21歳	4	4							
22歳	7	7							
23歳	15	15							
24歳	10	10							
25歳	13	13							
26歳	20	17		3					
27歳	6	6							
28歳	7	6		1					
29歳	9	6		3					
30歳	6	2		4					
31歳	4	2		2					
32歳	7	3		4					
33歳	7	1		6					
34歳	10			10					
35歳	10			10					
36歳	7			6	1				
37歳	12			12					
38歳	16			13	3				
39歳	10			9	1				
40歳	14			11	3				
41歳	10			5	5				
42歳	10			5	5				
43歳	6			1	5				
44歳	9			2	7				
45歳	4				4				
46歳	6			2	4				
47歳	5			1	4				
48歳	14			3	10	1			
49歳	8			2	5	1			
50歳	23			2	8	12	1		
51歳	15				6	8	1		
52歳	20		1	3	4	6	6		
53歳	16			1	3	10	1	1	
54歳	12				5	5	2		
55歳	5			1	1	2	1		
56歳	7				3	2	2		
57歳	12				3	3	2	3	1
58歳	1						1		
59歳	7			1	3	1		2	
60歳	4				4				
61歳									
62歳									
63歳									
64歳									
65歳以上									

(注) 市長部局へ7名出向及び文部科学省文化庁へ1名出向(定数外)、市長部局からの出向2名含。

10 職員の研修状況

(令和6年度中)

区分		研修科目	回数	延人数
派遣研修	県消防学校	初任教育初任救急総合科	1	12
		幹部教育初級幹部科	1	2
	消防大学校	専科教育救助科	1	3
		特別教育3年目研修	1	20
		特別教育無線通信教育	1	16
		上級幹部科	1	1
		幹部科	1	1
		指揮隊長コース	1	1
		高度救助・特別高度救助コース	1	1
	救急救命士養成課程	京都市消防学校	1	1
		大阪市消防局高度専門教育訓練センター	1	1
		救急救命東京研修所	1	1
	その他	指導救命士養成研修	1	1
		堺市消防局指揮隊実務研修	1	1
		奈良県広域消防組合消防本部火災調査研修	1	3
		大阪市消防局火災調査実務研修	1	1
		消防職員安全衛生管理研修	1	2
		国際緊急援助隊救助チーム技術訓練	1	1
		国際消防救助隊連携訓練	1	1
		国際消防救助隊セミナー	1	1
		国際文化研修消防職員コース	1	1
		気管挿管病院実習	3	3
		ビデオ喉頭鏡を使用する気管挿管病院実習	1	1
		玉掛け技能講習	1	2
		小型移動式クレーン講習	1	2
		テールゲートリフター操作特別講習	3	12
一般研修	局	墜落制止用器具のうちフルハーネス型のものを用いて行う作業業務講習	1	2
特別研修	局	ドローン運用アドバイザー育成研修	1	1
		二等無人航空機操縦士講習	3	4
		消防職員特別教育潜水救助教育指導教官予定者事前研修	1	1
		消防職員特別教育潜水救助教育	1	1
		消防職員のための惨事ストレスの理解と予防コース	1	1
		潜水士免許準備講習会	1	3
		伐木等特別講習	1	1
		全職員研修会	2	123
		人材育成プログラムに関する研修	1	22
		女性活躍推進に関する研修	2	35
職場研修	課・署	火災防ぎよ研修	4	191
		災害対応に関する研修	3	48
		消防水利施設等検査要領	17	103
		消防技術研修会	1	20
		火災調査に関する研修	1	47
		救急業務に関する研修	12	192
		指令業務に関する研修	4	61
		服務	18	84
		庶務	40	127
		情報	12	48
		法規	5	24
		安全管理	80	301
		一般常識	12	55
		予防	144	417
		査察	97	253
		危険物	20	67

11 奈良市消防音楽隊の概要

消防行政のPRと防火思想の普及のため、昭和61年に「奈良市消防音楽隊」として設置されました。現在は派遣演奏等の活動を中止しています。



(1) 音楽隊の編成

(令和7年4月1日現在)

隊長	副隊長	楽長	副楽長	隊員	計
1	1	1	1	15	19

(2) 音楽隊員の階級別年令調べ

(令和7年4月1日現在)

階級別 年齢別	計	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士
計	19	1	2	5	6	5	0	0
18才～29才	0							
30才～39才	4					4		
40才～49才	7				6	1		
50才～59才	8	1	2	5				
60才以上	0							

(3) 楽器保有数

(令和7年4月1日現在)

品名	数	品名	数
ピッコロ	2	マーチングユーフォニューム	1
フルート	2	チューバ	2
クラリネット	6	スザフオン	2
アルトサックス	2	スネアドラム	3
テナーサックス	2	バスドラム	2
トランペット	7	クロード	1
コルネット	2	ドラムセット	1式
フレンチホルン	2	グロッケン	2
マーチングホルン	2	シンバル	1
テナートロンボーン	4	シンセサイザー	1
バストロンボーン	1	コンガ	1
ユーフォニューム	2	ボンゴ	1

警 防 關 係



「令和 6 年度消防技術研修会」

12 警防概要

令和6年中の警防出動（火災・救助・救急出動を除く出動）件数は897件で、一日平均2.5件出動しています。

出動内容は、ガス漏れや危険物流出に伴う危険排除出動や重篤患者に対応する救急隊の支援出動など多岐にわたり、近年、都市構造や社会環境等の変化に伴い、災害の発生要因は複雑多様化し、従来にも増して的確な災害対応が求められており、様々な災害に対応できる知識と技術が要求されるものとなっています。

当市の警防体制は、これらの災害に対応すべく資機材や車両、消防水利等の整備を図るとともに、幅広い知識と技術の習得のため日々訓練・研修に取り組み、市民の安心・安全に期すべく体制強化に努めています。



「令和6年度消防技術研修会」

13 警防概況

区分	年別	令和6年	令和5年	比較△減
		令和6年	令和5年	
出 動 件 数		897	894	3
種 別	自火報警戒（非火災）	210	170	40
	車両等からの油漏洩	78	79	△1
	ガス漏れ	8	7	1
	風水害	14	26	△12
	誤報・虚報	24	45	△21
	PA（RA）連携	453	479	△26
	そ の 他	110	88	22
出 動 人 員		6,021	5,317	704
1 ケ 月 平 均 出 動 件 数		75	75	0

※「PA（RA）連携」とは、直近の救急車が現場到着に時間と要すると判断される場合又は消防隊（P）・救助隊（R）等が応急処置等を実施することが効果的と認められる場合において、災害現場に近い消防隊等を出動させ、救急隊（A）が到着するまでの間の傷病者に対する応急処置等を行うとともに、救急隊が行う応急処置及び救急救命処置の補助等を行うもの、また救急隊のみでは活動が困難と予想される事案に対する支援等の活動をいう。

14 署別警防出動状況

(令和6年中)

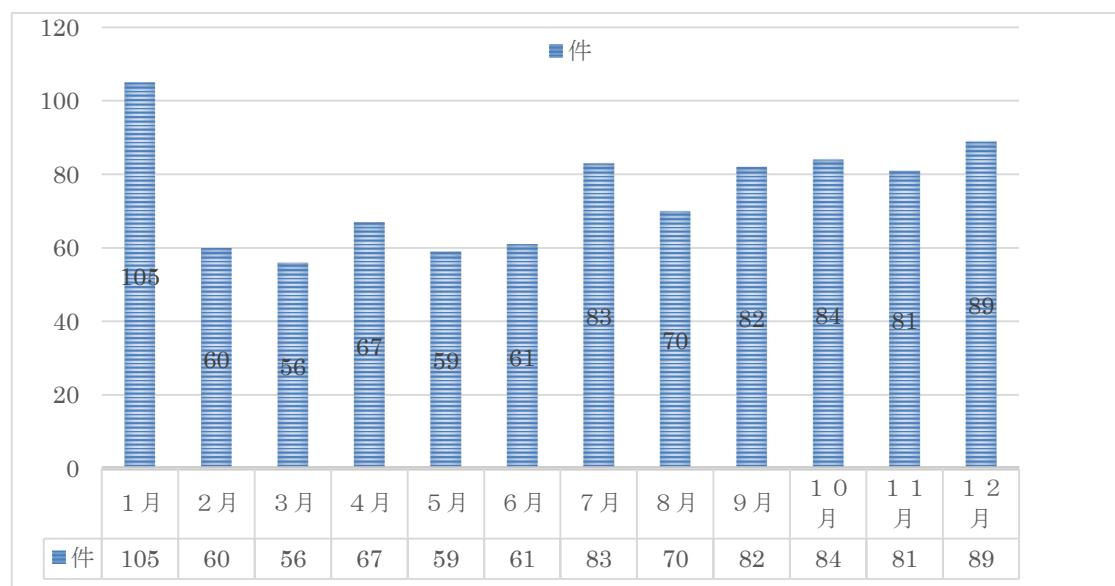
区分	種別	計	自火報警戒 (非火災)	車両等からの油漏洩	ガス漏れ	風水害	誤報・虚報	P A (R A) 連携	その他
計	出動件数	897	210	78	8	14	24	453	110
	出動人員	6,021	1,626	614	63	84	295	2,327	1,012
中央消防署	本署	出動件数	144	60	8	2	1	2	57
		出動人員	1,091	471	65	18	4	34	342
	佐保分署	出動件数	82	23	5	1	1		47
		出動人員	472	181	36	8	3		206
	南部分署	出動件数	76	10	9	2	1	2	45
		出動人員	447	78	61	15	3	33	203
南消防署	本署	出動件数	118	24	12	2	4	3	55
		出動人員	889	200	98	16	31	44	348
	西大寺分署	出動件数	92	28	7		1	1	53
		出動人員	526	207	57		3	10	232
西消防署	本署	出動件数	119	24	10		2	8	65
		出動人員	772	184	97		9	89	306
	富雄分署	出動件数	64	17	6			2	36
		出動人員	406	125	52			14	199
北消防署	本署	出動件数	87	12	9	1		3	53
		出動人員	556	93	70	6		22	226
東消防署	本署	出動件数	64	4	7			3	37
		出動人員	447	31	40			49	247
	東部分署	出動件数	24	3	5		2		4
		出動人員	146	21	38		25		15
	月ヶ瀬分署	出動件数	9	5			2		1
		出動人員	48	35			6		4
市外応援	出動件数	18							18
	出動人員	221							221

15 月別警防出動状況

(令和6年中)

種別	計	自火報警戒（非火災）	車両等からの油漏洩	ガス漏れ	風水害	誤報・虚報	P A (R A) 連携	その他
月別								
計	897	210	78	8	14	24	453	110
1	105	21	7	3		5	43	26
2	60	8	6				40	6
3	56	10	4				29	13
4	67	17	8			3	32	7
5	59	9	10		1	5	31	3
6	61	17	12		2	1	26	3
7	83	26	10	2	3	1	38	3
8	70	26	1		1	2	33	7
9	82	26	5	1	1	2	38	9
10	84	21	5	1			41	16
11	81	14	4	1	6	3	48	5
12	89	15	6			2	54	12

月別警防出動件数



16 消防車両等の配備状況

(令和7年4月1日現在)

署 所 区 分	計	消 防 局	中央 消 防 署			南 消 防 署		西 消 防 署		北 消 防 署	東 消 防 署		
			本 署	佐 保 分 署	南 部 分 署	本 署	西 大 寺 分 署	本 署	富 雄 分 署		本 署	東 部 分 署	月 ヶ 瀬 分 署
計	111	20	16	6	5	15	4	11	4	8	11	6	5
ポンプ車	13	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1
水槽付ポンプ車	4				1			1		1	1		
化学車	2		1			1							
30m梯子車	1							1					
35m梯子車	2		1							1			
25m屈折梯子車	1					1							
高所救助放水車	1											1	
I型救助工作車	2		1									1	
II型救助工作車	1							1					
III型救助工作車	1		1										
高規格救急車	16	1	2	1	1	2	1	2	1	1	2	1	1
指令車	10	5	1			1		1		1	1		
広報車	2	2											
巡察車	8			1		1	1		1	1	1	1	1
バス	1	1											
楽器搬送車	1	1											
搬送車	6	2	1		1			1			1		
中型水陸両用車	1	1											
支援車	1	1											
輸送車	1					1							
連絡車	1	1											
燃料補給車	1	1											
軽四輪積載車	1		1										
共用車	2	2											
原動機付自転車	16		2	1	1	3	1	2	1	1	2	1	1
小型動力ポンプ	15	1	4	2		3		1		1	1	1	1

(注) 中央消防署・南消防署・佐保分署の小型動力ポンプは、管轄内の社寺及びならまち分を含む。

(注) ポンプ車・水槽付ポンプ車・高規格救急車には災害対応特殊ポンプ自動車を含む。

17 消防水利状況

(令和7年4月1日現在)

(1) 消火栓

区分 署別	合 計	公 設	私 設	その他 (簡水)
合 計	5, 890	5, 111	326	453
中央消防署	1, 862	1, 615	192	55
南 消 防 署	1, 333	1, 260	73	
西 消 防 署	1, 497	1, 467	30	
北 消 防 署	529	498	31	
東 消 防 署	669	271		398

(2) 防火水槽

区分 署別	公 設				私 設			
	有 蓋		無 蓋		有 蓋		無 蓋	
	40t 以上 100t 未満	100t 以上						
合 計	518	41	135	0	717	45	34	8
中央消防署	124	13	12		216	19	6	2
南 消 防 署	58	6			171	13	2	3
西 消 防 署	124	11			198	11	1	1
北 消 防 署	33	6	1		60			1
東 消 防 署	179	5	122		72	2	25	1

(3) その他の水利

区分 署別	た め 池	プ ー ル	河 川
合 計	193	93	27
中 央 消 防 署	42	30	7
南 消 防 署	35	15	6
西 消 防 署	20	22	2
北 消 防 署	22	9	
東 消 防 署	74	17	12

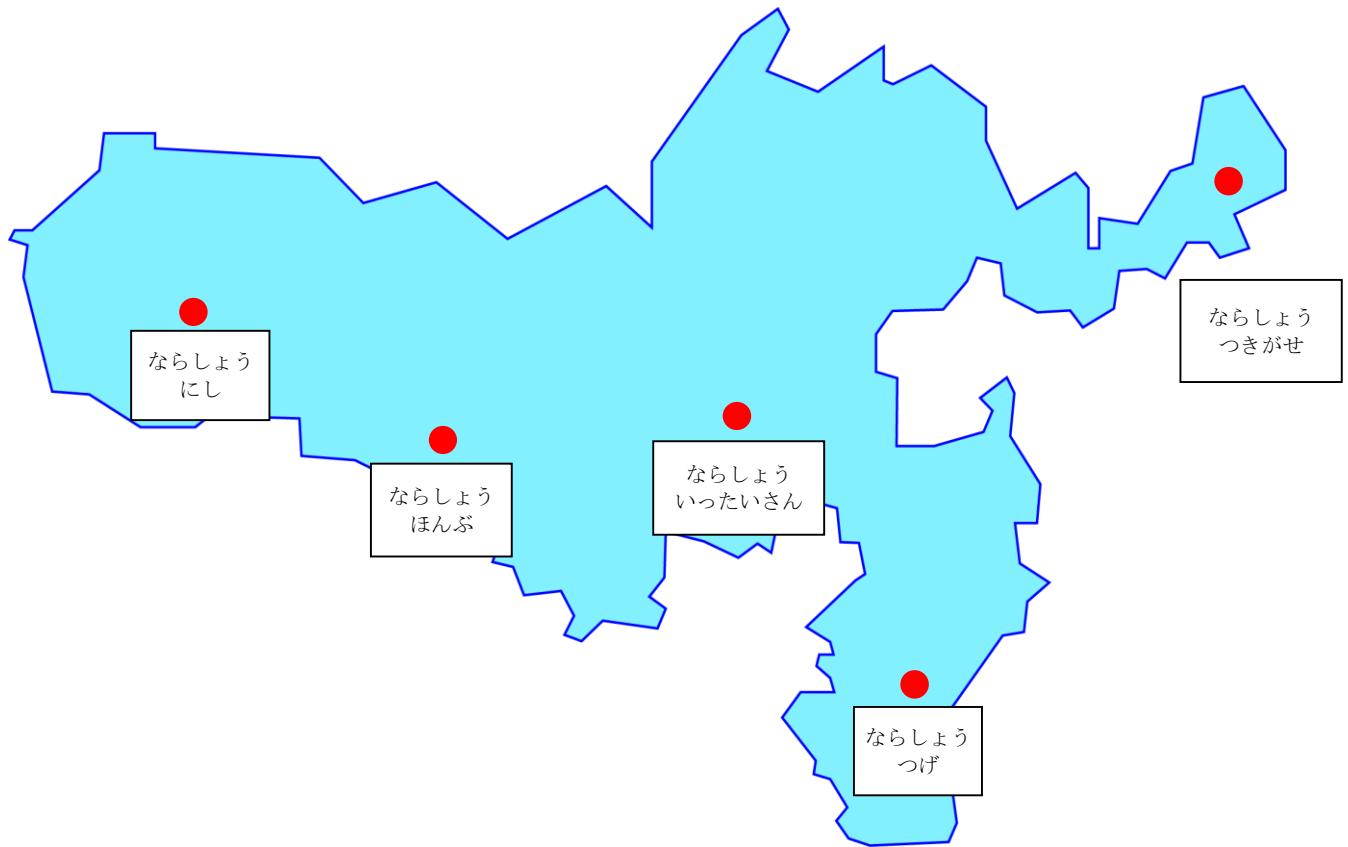
通 信 関 係



「奈良市・生駒市司令センター 指令台」

18 通信施設

(1) 基地局



基地局 (デジタル)		消防局	一体山 前進基地局	都祁 前進基地局	西消防署 前進基地局	月ヶ瀬 前進基地局
呼出名称		ならしう ほんぶ	ならしう いittaisan	ならしう つけ	ならしう にし	ならしう つきがせ
出 力		10W	5W	10W	10W	10W
実装周波数名称	活動波 1	○	○			
	活動波 2	○	○	○	○	○
	活動波 3	○	○	○	○	
	活動波 4	○				
	主運用波	○	○	○		
	統制波 1	○	○	○		
	統制波 2	○	○	○		
	統制波 3	○	○	○		

(2) 無線電話の現状

(令和7年4月1日現在)

区分 局別		実装周波数名称	出力	総数	消防局	中央消防署	南消防署	西消防署	北消防署	東消防署	
消防救急無線	デジタル無線機	車載無線機	活動波1 活動波2 活動波3 活動波4 主運用波 統制波1 統制波2 統制波3	10W	87	25	16	12	11	7	16
				10W	8	3	1	1	1	1	
				5W	65	14	14	10	10	6	11
	アナログ無線機	可搬型無線機	防災相互波	10W	2	2					
				5W	19	7	3	3	2	1	3
		携帯無線機 (署活動系)	署活系 1ch～4ch 防災相互波 県内共通波 ※()…G1～G17実装	1W	167 (166)	26 (25)	38	30	28	16	29
	市防災行政無線			1W	1	1					
	救急車積載携帯電話			0.8W	17	2	4	3	3	1	4
	画像伝送装置				16	3	4	2	3	1	3
位置管理用通信機					57	9	13	9	9	6	11

(3) 有線電話

(令和7年4月1日現在)

局別	区分	計	消防 局	中央 消防 署	南 消防 署	西 消防 署	北 消防 署	東 消防 署
火災専用電話(固定電話・IP電話等) 119番		12	12					
非常用119番		10	10					
携帯119番		4	4					
携帯119番転送回線		6	6					
一般加入電話		31	13	5	3	4	2	4
内 線		219	84	40	28	24	14	29
テレガイド		14	14					
警察電話		1	1					
110番転送		1	1					
市役所		1	1					
企業局(緑ヶ丘浄水場)		2	2					
阪神高速		1	1					
近鉄生駒駅		1	1					

(4) 119番着信件数

(令和6年中)

区分 月	緊急性を要する通報							緊急性を要しない通報										
	総 数	火 災	救 急	救 助	警 戒	水 防	調 査	病 院 問 合 せ	問 合 せ	相 談	苦 情	感 謝	間 違 い	いたずら	回 線 テ ス ト	自 動 通 報 試 験	訓 練 通 報	そ の 他
総数	34,159	120	24,800	345	378	0	6	775	1,312	438	13	14	1,597	130	332	643	686	2,570
1	3,146	15	2,194	28	43			85	138	31			136	20	30	49	39	338
2	2,697	5	2,003	29	19			55	94	36	2		115	9	20	48	48	214
3	2,664	8	1,957	22	20			61	73	27			125	22	15	60	58	216
4	2,544	14	1,837	19	34			51	87	33	2	2	132	10	18	67	48	190
5	2,619	5	1,916	30	21			66	110	31	1	1	115	14	21	57	61	170
6	2,541	5	1,869	22	28			54	95	20	2		118	8	31	55	54	180
7	3,318	9	2,509	33	38			64	119	41			156	9	27	47	26	240
8	2,978	6	2,174	35	32		1	63	126	48	2	2	167	10	29	46	29	208
9	2,683	17	1,900	36	43		2	63	91	47		4	141	6	31	56	62	184
10	2,716	19	1,921	26	42		1	58	121	36	2	2	133	6	32	67	79	171
11	2,888	9	2,083	38	28			54	102	33		1	139	8	34	57	113	189
12	3,365	8	2,437	27	30		2	101	156	55	2	2	120	8	44	34	69	270

(5) 119番通報種別割合

(令和6年中)

区分 月	総数	NTT 固定		携 帯		I P		その他の割合		携帯+IP	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
合計	34,159	5,183	15.2	18,646	54.6	9,375	27.4	955	2.8	28,021	82.0
1	3,146	456	14.5	1,790	56.9	825	26.2	75	2.4	2,615	83.1
2	2,697	441	16.4	1,408	52.2	753	27.9	95	3.5	2,161	80.1
3	2,664	393	14.8	1,418	53.2	789	29.6	64	2.4	2,207	82.8
4	2,544	407	16.0	1,375	54.0	698	27.4	64	2.5	2,073	81.5
5	2,619	391	14.9	1,410	53.8	741	28.3	77	2.9	2,151	82.1
6	2,541	401	15.8	1,350	53.1	724	28.5	66	2.6	2,074	81.6
7	3,318	456	13.7	1,871	56.4	895	27.0	96	2.9	2,766	83.4
8	2,978	442	14.8	1,649	55.4	795	26.7	92	3.1	2,444	82.1
9	2,683	410	15.3	1,486	55.4	715	26.6	72	2.7	2,201	82.0
10	2,716	435	16.0	1,508	55.5	685	25.2	88	3.2	2,193	80.7
11	2,888	480	16.6	1,498	51.9	830	28.7	80	2.8	2,328	80.6
12	3,365	471	14.0	1,883	56.0	925	27.5	86	2.6	2,808	83.4

(6) テレフォンガイド利用数

(令和6年中)

計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
13,331	1,238	765	1,451	1,327	1,079	755	964	1,039	903	1,235	1,148	1,427

(7) 月別気象状況（消防局）

(令和6年中)

区分 月	気温 (°C)			湿度 (%)			風速 (m/s)			降水量 (mm)			気圧 (hPa)		
	月 平 均	最 高	最 低	月 平 均	最 高	最 低	月 平 均	最 大	風 向	月 合 計 値	日 最 大	降 水 日 数	月 平 均	最 高	最 低
1	5.7	14.1	-1.6	75.1	99.9	32.4	2.5	19.6	西北西	18.5	4	9	1012.4	1024.0	1001.4
2	7.2	18.9	-0.1	80.5	99.9	35.2	2.4	19.4	北	65	12.5	14	1013.8	1024.9	998.0
3	8.5	23.9	-0.8	70.8	99.9	11.1	2.9	22.1	北	176.5	45	13	1008.2	1021.3	992.5
4	17.6	30.4	4.5	69.6	99.9	16.3	2.3	18.4	北	110	40.5	10	1006.0	1020.4	992.7
5	19.1	31.1	6.7	70.5	99.9	10.2	2.4	19.3	北	162	61.5	13	1006.1	1015.4	986.0
6	24	35.6	14.4	74.6	99.9	23.8	2.2	18.5	北	305.5	93.5	14	1001.6	1012.5	992.0
7	29.8	38	21.7	72.8	99.9	35.8	2.5	16	西南西	155.5	57.5	7	1002.1	1012.7	992.7
8	30.2	39.6	23.6	72.2	99.9	26.6	2.2	17.2	北	128	39	11	999.5	1008.0	989.9
9	28.3	37	19.7	73.6	99.9	31.6	2.1	14.7	南南東	67.5	31	7	1005.0	1012.0	995.9
10	21.3	32.1	11.2	80.1	99.9	27.4	2.2	14.6	北	102	22	10	1010.0	1021.3	999.2
11	14	26	5.7	77.2	99.9	30.5	2.4	18	北	107.5	57.5	8	1011.2	1022.9	994.2
12	7.2	18.6	-0.6	68.3	99.4	29.1	2.9	19.5	西南西	3.5	3	2	1010.2	1021.2	1000.4
平均	17.7	28.8	8.7	73.8	99.9	25.8	2.4	18.1	北	116.8	38.9	9.8	1007.2	1018.1	993.7

(8) 月別気象状況（東消防署）

(令和 6 年中)

区分 月	気温 (°C)			湿度 (%)			風速 (m/s)			降水量 (mm)			気圧 (hPa)		
	月 平 均	最 高	最 低	月 平 均	最 高	最 低	月 平 均	最 大	風 向	月 合 計 値	日 最 大	降 水 日 数	月 平 均	最 高	最 低
1	2.4	11.3	-5.8	86.3	98.3	22.7	2.2	18.2	西	26.5	5.5	11	964.2	975.0	954.0
2	3.9	15.8	-3.8	90.3	98.6	42.5	1.8	18.5	西	62.0	9.0	16	965.8	976.1	951.1
3	5.0	19.0	-4.6	82.9	98.6	16.9	2.4	18.2	西	176.5	43.0	14	960.6	972.5	945.8
4	13.6	25.7	-0.6	81.5	98.6	21.9	1.9	14.9	東北 東	93.0	37.0	11	960.2	973.2	947.6
5	15.4	25.9	2.2	82.2	98.6	20.5	1.8	16.1	西	147.0	44.0	14	960.5	968.8	940.7
6	19.8	29.8	9.2	86.5	98.6	41.1	1.8	15.2	東北 東	292.5	85.0	14	957.0	966.7	948.5
7	25.4	33.1	18.7	86.0	98.6	52.4	2.2	15.4	西	177.5	42.0	8	958.3	968.4	948.3
8	25.7	33.8	19.6	86.3	98.3	36.9	1.5	13.4	東北 東	106.5	35.5	11	955.9	963.4	946.6
9	23.8	31.9	15.3	87.0	98.6	43.0	1.5	14.7	東北 東	46.0	21.0	6	960.9	967.6	952.5
10	17.4	27.2	6.7	91.1	98.6	42.2	1.5	11.9	東北 東	88.5	14.5	13	964.6	974.9	954.1
11	10.2	21.6	1.8	89.9	98.6	32.7	1.8	18.3	西	81.5	25.5	10	964.5	975.3	949.6
12	3.4	15.0	-3.7	83.2	98.3	45.8	2.7	18.5	西	2.0	0.5	4	962.2	972.5	953.2
平均	13.8	24.2	4.6	86.1	98.5	34.9	1.9	16.1	西	108.3	30.2	11	961.2	971.2	949.3

救急関係



「令和6年度救急特別訓練」

19 救急概要

令和6年中の救急出場件数は25,143件となり、前年と比べて977件増加しました。また、搬送人員は22,044人となり前年度より1,020人増加しました。1年間で市民約16人に1人の割合で搬送したことになります。

救急出場件数を事故種別に分類するとトップに急病17,174件、続いて一般負傷4,352件、交通事故1,042件の順となっており、この3つの種別だけで全体の約90%を占めています。

当市は救急件数の増加や症例の多様化に対応するため、最新の資器材を配備した高規格救急自動車を全16台(内ドクターカー1台)及び救急救命士62名(令和6年1月1日現在)を配置し、さらに救急救命士の継続的な育成や、定期的な高度訓練を行うことにより、市民の救命率向上を図るために万全の体制を期しております。



「救急救命士入校前基本訓練」

20 救急資器材

(令和7年4月1日現在)

分類	品名	分類	品名
観察用資器材	患者監視装置	通信用資器材	車載無線機
	血圧計		携帯電話
	血中酸素飽和度測定器		情報通信端末
	検眼ライト		心電図伝送等送受信機器
	心電計	保温・搬送用資器材	雨おおい
	体温計		スクープストレッチャー
	聴診器		担架
	血糖値測定器		バックボード
呼吸・循環管理用資器材	気道確保用資器材	器材 応用資材	保温用毛布
	吸引器一式		固定用資器材
	喉頭鏡		創傷保護用資器材
	酸素吸入器一式		感染防止用資器材
	自動式人工呼吸器一式		消毒用資器材
	手動式人工呼吸器一式	その他資器材	トリアージタグ
	半自動体外式除細動器		臍盆
	マギール鉗子		はさみ
	呼気二酸化炭素測定器具		ピンセット
	ショックパンツ		分娩用資器材
	自動式心マッサージ器		冷却用資器材
	心肺蘇生用背板		保安帽
	特定行為用資器材		救急かばん
	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡		警笛
			懐中電灯
			在宅療法継続用資器材
			リングカッター
資器材 救出用	救命浮輪		
	救命綱		
	万能斧		

21 救急概況（前年との比較）

年別 区分	令和6年	令和5年	比較（△減）
出場件数	25,143	24,166	977
事故種別	火災	28	35 △ 7
	自然災害	0	1 △ 1
	水難	3	8 △ 5
	交通	1,042	1,024 18
	労働災害	190	204 △ 14
	運動競技	122	123 △ 1
	一般負傷	4,352	4,203 149
	加害	54	47 7
	自損行為	182	172 10
	急病	17,174	16,544 630
	転院搬送	1,858	1,649 209
	医師搬送	36	62 △ 26
	その他	102	94 8
救急件数	21,961	20,915	1,046
搬送人員（合計）	22,044	21,024	1,020
1カ月平均出場件数 (約)	2,095.3	2,013.8	81.5
1日平均出場件数 (約)	68.9	66.2	2.7

22 署別救急出場状況

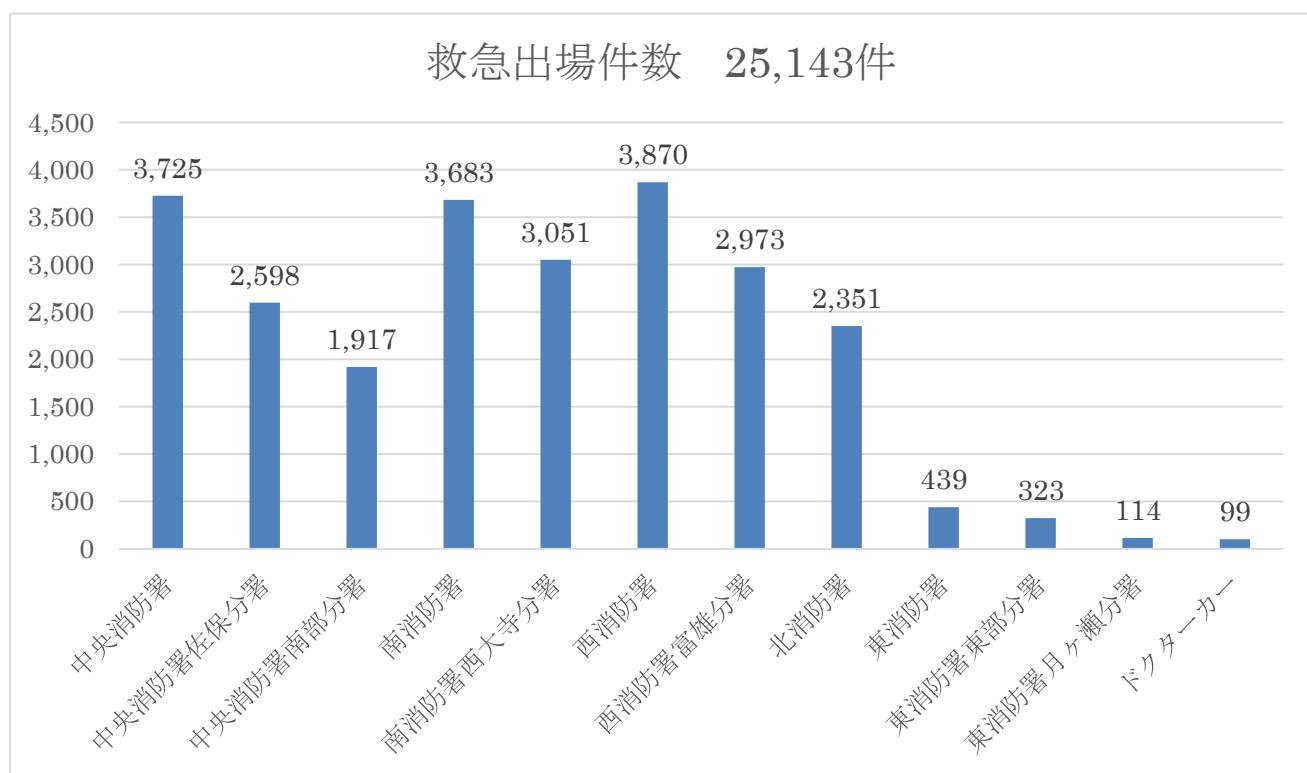
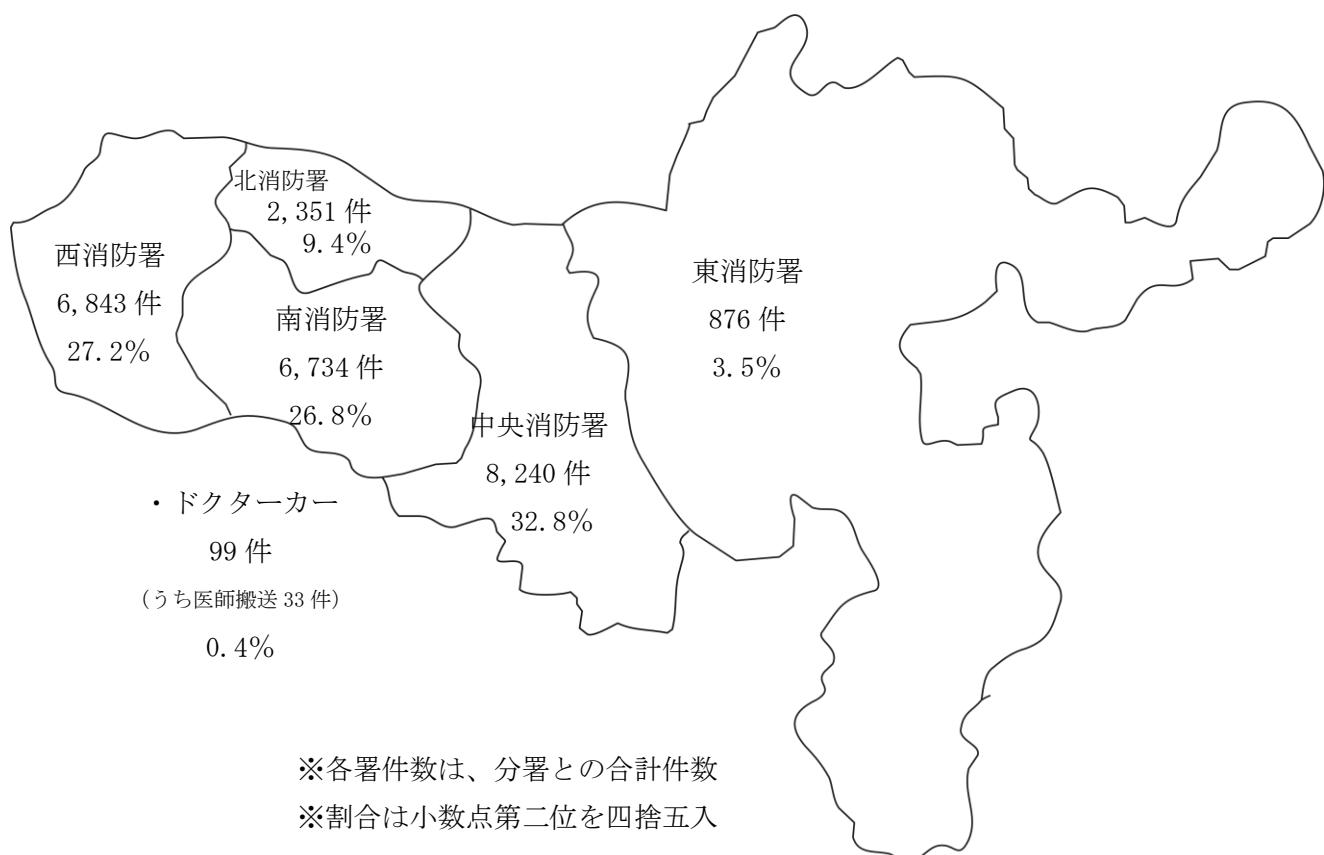
(令和6年中)

区分		種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
合 計		出場件数	25,143	28	0	3	1,042	190	122	4,352	54	182	17,174	1,996	
		搬送人員	22,044	9	0	1	932	179	121	3,869	41	127	14,927	1,838	
局 本 部		出場件数	0												
		搬送人員	0												
ドクターカー		出場件数	99	1			3		1	10			47	37	
		搬送人員	45				1		1	9			30	4	
中央消防署	本 署		出場件数	3,725	2			161	36	13	656	15	37	2,534	271
			搬送人員	3,154				139	32	11	569	10	23	2,108	262
	佐保 分署		出場件数	2,598	4			110	15	24	483	3	21	1,784	154
			搬送人員	2,263	2			99	15	24	438	2	12	1,526	145
南消防署	南部 分署		出場件数	1,917	5			82	11	4	346	8	22	1,350	89
			搬送人員	1,759	1			78	11	3	326	7	14	1,242	77
	本 署		出場件数	3,683	5			183	40	13	564	9	25	2,368	476
			搬送人員	3,312	2			179	39	13	528	9	21	2,064	457
西消防署	西大寺 分署		出場件数	3,051	1			131	23	27	548	6	23	2,087	205
			搬送人員	2,486				99	21	31	433	3	18	1,699	182
	本 署		出場件数	3,870	3		1	118	19	15	686	6	16	2,694	312
			搬送人員	3,390	2			94	18	14	599	5	13	2,354	291
東消防署	富雄 分署		出場件数	2,973	2		1	98	10	4	520	4	17	2,053	264
			搬送人員	2,676	1			91	10	4	468	3	11	1,840	248
	本 署		出場件数	2,351	2			96	12	15	381	2	15	1,688	140
			搬送人員	2,164				94	11	14	349	2	13	1,552	129
東消防署	本 署		出場件数	439	3			36	16	4	68	1	2	283	26
			搬送人員	396	1			37	16	4	63			252	23
	東部 分署		出場件数	323			1	18	4	1	65		2	216	16
			搬送人員	294			1	14	4	1	64		2	194	14
月ヶ瀬 分署	出場件数		114				6	4	1	25		2	70	6	
	搬送人員		105				7	2	1	23			66	6	

※ ドクターカー出場件数のうち、医師搬送は33件

23 署別救急出場件数

(令和 6 年中)



24 月別救急出場状況

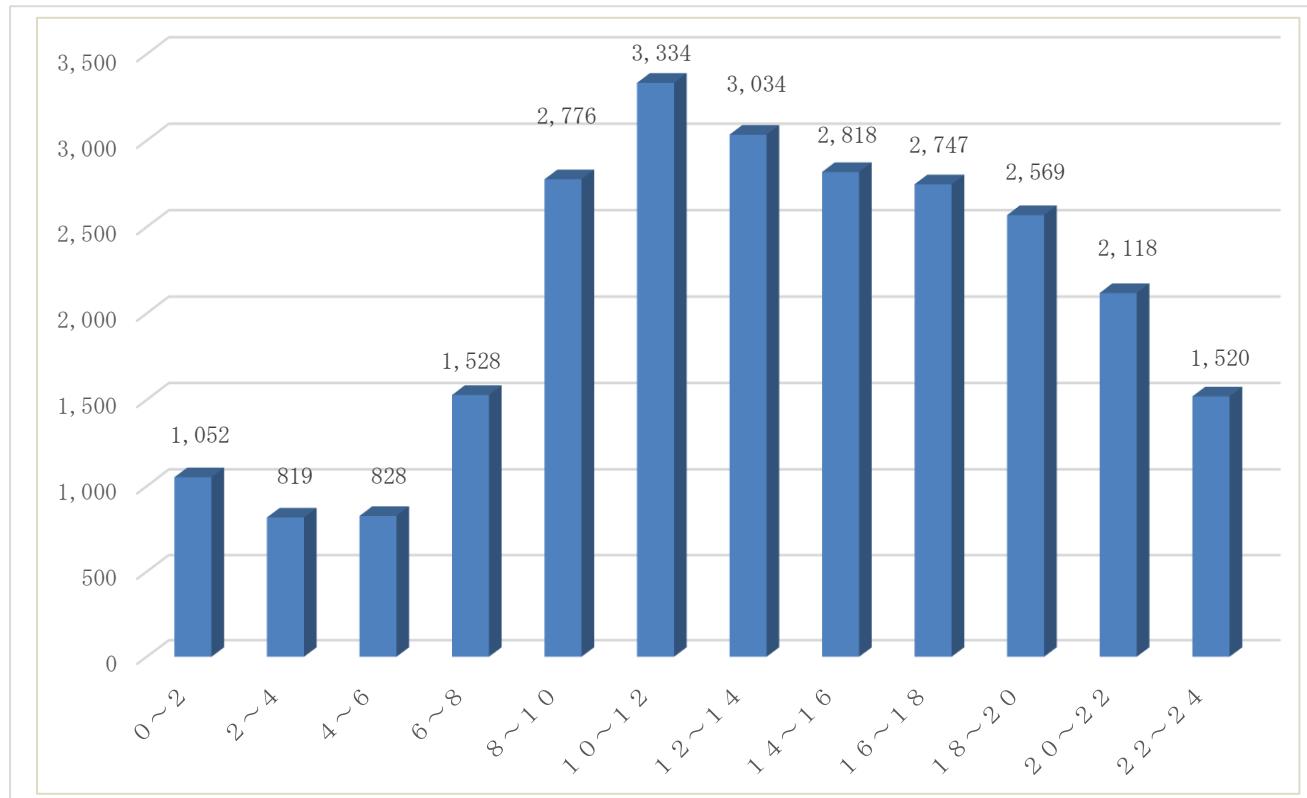
(令和6年中)

月別	区分	計	事故種別										
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計	出場件数	25,143	28		3	1,042	190	122	4,352	54	182	17,174	1,996
	搬送人員	22,044	9		1	932	179	121	3,869	41	127	14,927	1,838
1月	出場件数	2,226	4			74	10	2	352	8	11	1,588	177
	搬送人員	1,962	1			65	10	2	327	7	9	1,370	171
2月	出場件数	2,030	3			77	13	12	321	1	14	1,437	152
	搬送人員	1,764	1			68	13	12	284		10	1,237	139
3月	出場件数	1,968	2		2	89	10	4	332	4	19	1,352	154
	搬送人員	1,714	1		1	80	10	3	295	3	12	1,166	143
4月	出場件数	1,861	4			88	11	5	336	9	15	1,227	166
	搬送人員	1,639				78	11	5	299	7	9	1,073	157
5月	出場件数	1,934				87	8	9	345	3	16	1,313	153
	搬送人員	1,720				81	8	10	319	3	12	1,148	139
6月	出場件数	1,891			1	90	16	24	316	3	14	1,276	151
	搬送人員	1,664				79	14	25	274	2	10	1,118	142
7月	出場件数	2,543	1			85	32	15	396	2	20	1,805	187
	搬送人員	2,176	1			73	30	15	348	2	13	1,525	169
8月	出場件数	2,200	1			103	18	6	331	1	13	1,568	159
	搬送人員	1,912	1			86	17	7	285	1	7	1,360	148
9月	出場件数	1,956	4			86	19	15	350	3	16	1,303	160
	搬送人員	1,733	1			74	19	12	312	1	12	1,162	140
10月	出場件数	1,941	4			94	12	6	385	9	14	1,271	146
	搬送人員	1,711	1			89	11	6	332	6	13	1,119	134
11月	出場件数	2,110	2			95	20	14	390	2	19	1,388	180
	搬送人員	1,854	1			89	17	14	344	2	13	1,214	160
12月	出場件数	2,483	3			74	21	10	498	9	11	1,646	211
	搬送人員	2,195	1			70	19	10	450	7	7	1,435	196

25 時間別救急出場状況

(令和6年中)

時間別	事故種別	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資機材等搬送	その他
計	計	25,143	28	0	3	1,042	190	122	4,352	54	182	17,174	1,858	36	0	102
0～2		1,052	0	0	0	21	1	0	129	8	12	844	28	0	0	9
2～4		819	2	0	0	21	2	0	99	2	8	670	14	0	0	1
4～6		828	0	0	0	18	1	0	108	1	6	682	6	0	0	6
6～8		1,528	1	0	0	85	3	0	250	2	14	1,154	15	0	0	4
8～10		2,776	2	0	1	143	31	4	532	4	11	1,877	157	7	0	7
10～12		3,334	3	0	1	133	43	23	602	0	14	2,087	409	9	0	10
12～14		3,034	2	0	1	118	31	25	501	9	18	1,870	432	14	0	13
14～16		2,818	4	0	0	112	34	27	531	5	19	1,782	287	4	0	13
16～18		2,747	4	0	0	168	18	18	529	1	17	1,751	226	2	0	13
18～20		2,569	2	0	0	110	13	11	484	2	28	1,746	164	0	0	9
20～22		2,118	6	0	0	63	9	8	356	6	20	1,575	63	0	0	12
22～24		1,520	2	0	0	50	4	6	231	14	15	1,136	57	0	0	5



26 傷病程度別搬送人員

(令和6年中)

区分	事故種別 傷病程度	計	火災	自然 災害	水 難	交通	労 働 災 害	運動 競 技	一般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その 他
合計	合計	22,044	9		1	932	179	121	3,869	41	127	14,927	1,838
	死亡	217				7	1		18		4	187	
	重症	869	1			12	3		101		18	543	191
	中等症	11,675	3		1	230	58	48	1,497	9	71	8,224	1,534
	軽症	9,282	5			683	117	73	2,253	32	34	5,972	113
	その他	1											1
新生児	死亡												
	重症	5											5
	中等症	19										4	15
	軽症	7							2			5	
	その他	0											
乳幼児	死亡	3							1			2	
	重症	8							1			2	5
	中等症	223				4			19			158	42
	軽症	739				19			208			502	10
	その他	0				0							
少年	死亡	1										1	
	重症	3				1						1	
	中等症	218				12		11	30		13	123	29
	軽症	601				87	3	48	92		4	367	0
	その他	0											
成人	死亡	31				5			1		2	23	
	重症	152				7	3		6		10	80	46
	中等症	2,273	1			140	42	37	119	7	53	1,547	327
	軽症	3,038	3			415	80	24	430	26	26	1,993	41
	その他	0											
高齢者	死亡	182				2	1		16		1	162	
	重症	701	1			4			94		7	461	134
	中等症	8,942	2		1	74	16		1,329	2	5	6,392	1,121
	軽症	4,897	2			162	34	1	1,521	6	4	3,105	62
	その他	1											1

※ 網掛けにあっては該当なし。

27 救急隊員の行った応急処置回数

(令和6年中)

事故種別	傷病程度	処置	止血	固定	人工呼吸	心マッサージ	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	保温	被覆	在宅療法継続	除細動	血圧測定	心音等の聴取	血中酸素飽和度	心電図	
合計	合計	498	446	48			256	3,671	458	235	1,100	8	32	20,870	1,696	21,860	8,514	
	死亡	0	9	16			142	181	205	12		1	6	18	67	161	178	
	重症	8	30	26			112	477	210	30	14		26	697	138	832	548	
	中等症	118	208	5			2	2,703	40	142	231	6	0	11,455	1,061	11,645	5,014	
	軽症	372	199	1				310	3	51	855	1	0	8,699	430	9,221	2,773	
	その他														1	1	1	
急病	計	66	19	45			218	2,927	394	171	47	7	30	14,074	1,355	14,794	7,112	
	死亡			15			118	153	175	8		1	6	15	57	139	150	
	重症		1	24			98	354	183	22	4		24	403	111	510	421	
	中等症	18	10	5			2	2,149	34	105	21	5		8,084	875	8,203	4,151	
	軽症	48	8	1				271	2	36	22	1		5,571	312	5,941	2,389	
	その他														1	1	1	
交通事故	計	58	186				7	31	10	16	177				914	91	929	110
	死亡		5				6	7	7	3					2	4	4	7
	重症	1	8				1	5	3	1					11	5	12	7
	中等症	20	90					18		11	48				228	40	230	58
	軽症	37	83					1		1	129				673	42	683	38
	その他																	
一般負傷	計	330	177	2			25	147	37	23	795	1	2	3,650	144	3,832	611	
	死亡			1			14	17	18	1					1	4	15	17
	重症	1	6	1			11	25	16	1	4		2	86	12	100	35	
	中等症	76	79					81	2	8	145	1		1,475	60	1,494	268	
	軽症	253	92					24	1	13	646				2,088	68	2,223	291
	その他																	
その他	計	44	64	1			6	566	17	25	81				2,232	106	2,305	681
	死亡		4				4	4	5						2	3	4	4
	重症	6	15	1			2	93	8	6	6			197	10	210	85	
	中等症	4	29					455	4	18	17			1,668	86	1,718	537	
	軽症	34	16					14		1	58			367	8	374	55	
	その他																	

28 救急救命士による特定行為実施状況

(令和6年中)

事故種別 応急処置	急 病					交 通 事 故					一 般 負 傷					そ の 他					合 計					
	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	計
食道閉鎖式 エアウェイ	42	70	1			3	1				1	8				1					46	80	1	0	0	127
気管挿管	19	31	1								2	7				2	2				23	40	1	0	0	64
ブドウ糖投与のための 静脈路確保			15	9																	0	0	15	9	0	24
心停止前 静脈路確保		10	24	1		1	1				1					3	3				0	14	29	1	0	44
心停止後 静脈路確保	55	103	1			2	1				3	10				2	3				62	117	1	0	0	180
薬剤投与	51	99	1			2	1				3	10				1	4				57	114	1	0	0	172
血糖値測定		4	46	10			1										1				0	4	48	10	0	62
エピペン																					0	0	0	0	0	0
ブドウ糖投与			17	9																	0	0	17	9	0	26

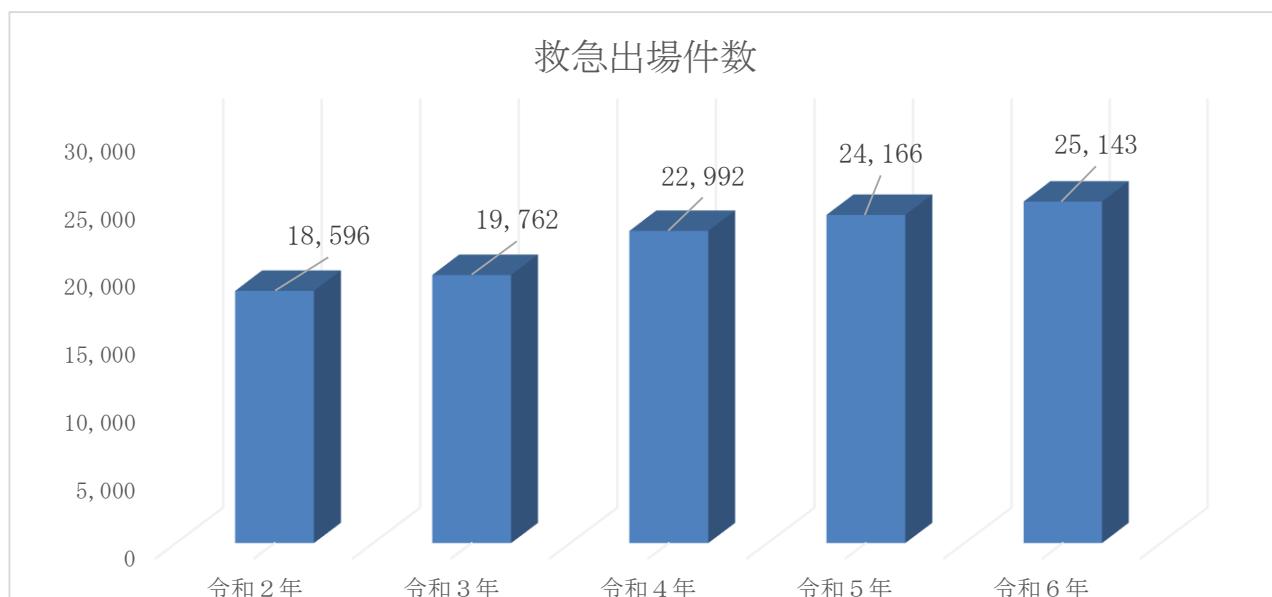
29 急病にかかる疾病分類別傷病程度別搬送人員調

(令和6年中)

傷病程度	疾病分類	計	循 環 系		消 化 系	呼 吸 系	精 神 系	感 觉 系	泌 尿 系	新 生 物	そ の 他	症 状・微 侯・診 断 名 不 明 確 の 狀 態	
			脳 疾 患	心 疾 患 等									
計		14,927	834	877	1,074	1,784	395	452	403	184	1,915	7,009	
死 亡		187		8		3					2		174
重 症		543	80	67	13	65	4	2	2	31	52		227
中 等 症		8,224	658	559	677	1,321	145	197	201	137	1,075		3,254
軽 症		5,972	96	243	384	395	246	253	200	14	788		3,353
そ の 他		1											1

30 過去5カ年の事故別救急出場状況

種別区分		合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
令和2年	出場件数	18,596	37	0	7	981	149	66	3,470	51	172	12,096	1,567
	搬送人員	17,056	15	0	4	940	147	69	3,232	41	120	11,042	1,446
令和3年	出場件数	19,762	33	0	4	1,059	154	145	3,402	47	161	13,031	1,726
	搬送人員	18,028	12	0	0	1,007	153	156	3,129	41	117	11,763	1,650
令和4年	出場件数	22,992	24	0	1	1,057	173	113	3,848	63	175	15,699	1,839
	搬送人員	20,017	7	0	1	982	168	117	3,434	54	120	13,407	1,727
令和5年	出場件数	24,166	35	1	8	1,024	204	123	4,203	47	172	16,544	1,805
	搬送人員	21,024	16	1	4	944	194	120	3,761	34	124	14,187	1,639
令和6年	出場件数	25,143	28		3	1,042	190	122	4,352	54	182	17,174	1,996
	搬送人員	22,044	9		1	932	179	121	3,869	41	127	14,927	1,838



31 応急手当講習実施状況

(令和6年中)

区分 月	救命入門コース (注 1)		普通救命講習 I (注 2)		普通救命講習 III (注 3)		上級救命講習 (注 4)	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
合計	111	1977	170	1469	65	126	5	62
1月	8	116	16	84	6	12	1	10
2月	10	183	23	175	2	2		
3月	3	58	15	115	8	20	1	12
4月	2	17	5	32	5	14		
5月	17	385	8	72	2	3	1	20
6月	27	461	18	247	5	8		
7月	11	203	12	150	6	12	1	6
8月	8	133	17	300	7	14		
9月	11	254	17	94	7	15	1	14
10月	5	39	10	35	6	7		
11月	5	49	14	71	4	8		
12月	4	79	15	94	7	11		

(注 1) 救命入門コース：心肺蘇生法の基礎的な内容の講習（45 分・90 分）

(注 2) 普通救命講習 I：主に成人に対する心肺蘇生法や応急手当等を学ぶ講習（3 時間）

(注 3) 普通救命講習 III：主に小児に対する心肺蘇生法や応急手当等を学ぶ講習（3 時間）

(注 4) 上級救命講習：成人・小児に対する心肺蘇生法や応急手当等を学ぶ講習（8 時間）



救 助 関 係



「潜水隊員による環状検索訓練」

32 救助概要

令和6年中の救助出動件数は333件で、うち231件の救助活動により、204名を救助しています。

消防機関の行う救助活動は、近年、都市化の進展に伴い、災害の態様は複雑多様化・大規模化の傾向を強めており、救助事象における活動は複雑多岐にわたるものとなり、救助における高度な知識と技術が要求されるものとなっています。

当市の救助体制は、中央消防署に高度な救助資機材を導入した高度救助隊、西消防署に特別救助隊、東消防署に兼任救助隊を配置し、熟練された隊員により、あらゆる災害に対処し、市民の安全・安心に期しています。

また、国際消防救助隊員として6名の隊員を総務省消防庁に登録しており、海外での大規模災害に備え、各種研修への参加をはじめ、あらゆる想定訓練・教養を実施し資質向上に努めています。



「令和6年度緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（京都府）」

33 高度救助用資機材

高度救助隊・特別救助隊に配置している救助工作車Ⅱ・Ⅲ型に、ファイバースコープ等の探索機、熱画像直視装置等の高度な資機材を積載し、大地震で多発する崩壊現場に対応するため、地震警報器等を導入し装備の充実を図っております。

資機材名	特長
画像探索機（Ⅰ型） (ファイバースコープ)	生き埋め現場でカメラを空隙内に差込探索する。（ケーブルが自由自在に曲がる。Ⅱ型と比較して焦点距離が短い。）
画像探索機（Ⅱ型）	倒壊ビルの壁に穴を開けカメラを差込、室内等を探索する。（棒カメラを差込、Ⅰ型と比較して焦点距離が長く全体を観察出来る。）
水中探査装置	水難救助現場等、水中にカメラを入れ検索する。
地中音響探索機	地中聴音機で閉鎖された遭難者のノック信号を聞いて遭難者の位置を確認する。
電磁波探査装置	地震や土砂災害などで倒壊した建物や土砂などの下敷きになっている生存者を探査する。
熱画像直視装置	赤外線カメラである。暗闇や煙の中で倒れている救助対象者を検索する。
夜間暗視装置	超高感度暗視スコープで暗闇や煙の中で倒れている救助対象者を検索する。
地震警報器	軽量かつコンパクトでどこでも使用できるもので、地震の初期微動を検知し、大きな揺れになる前にいち早く警報を発するため、隊員等の安全管理に必要である。
小型マット型空気ジャッキ	小さな隙間に挟まれた救助対象者を救出するもので、従前の重装備に比べ軽量化になっている。
携帯用コンクリート破壊器具	油圧、空圧、空気式器具の使用できない現場での削岩破壊に使用する携帯器具である。
携帯用救助器具	救助作業は徒歩による移動が多いため必要な救助器具（オノ、金テコ、ショベル他）を携帯用に軽量化したもの。
救助用支柱器具	倒壊した建物等に閉じ込められた救助対象者を救助するために柱等支えるもので、空気を用いて遠隔操作で伸縮できる。

34 救助資機材

(令和7年4月1日現在)

分類	品 名	分類	品 名
一般救助用器具	かぎ付はし 三連はし 金属製折たみはし ワイヤはし 空気式救助マツ 救命索発射銃 救助用縛帶架車 平口力滑ラビ	呼吸保護用器具	空気呼吸器(予備ボンベを含む。) 空気補充用ボンベ 酸素呼吸器(予備ボンベを含む。) 簡易呼吸器 防塵マスク 送排風機
重量物排除用器具	油圧ジヤツキ 油圧スプレッダ 可搬ウインチ ワイヤ一口一 マンホール救助器 救助用簡易起重 マット型空気ジャッキ 大型油圧スプレッダ 救助用支柱器具	隊員保護用器具	革手袋 耐電手袋 安全部 防塵マスク 携帯報器 防熱服 陽圧式化學防護服 放射線防護服(個人用線量計を含む。) 耐電衣 耐電ズボン 耐電長靴 耐防毒衣
切断用器具	油圧切断機 エンジンカッタ ガス溶断器 チエーナソード 鉄線カッタ 空気鋸 大型油圧切断機 空気切断機	水難救助用器具	潜水器 救命胴衣 水中投光器 救命浮環 浮標 救命ボート 救命外機
破壊用器具	万能斧 ハンマ一具 携帶用コンクリート破壊器 削岩機 ハンマドリル	測定用器具	可燃性ガス測定器 有毒ガス測定器 酸素濃度測定器 放射線測定器 携帶型生物剤検知装置 携帶型化学剤検知機 化学剤検知紙
救助用器具	登山器具一式 バスケット担架	その他の救助用器具	投光器 携帯拡声器 携帯無線機 応急処置用セット その他の携帶用救助工具一式 緩降機 発電機

35 救助概況（前年との比較）

年 別		令和6年	令和5年	比 較 △ 減
区 分				
出 動 件 数		3 3 3	3 4 1	△ 8
事 故 種 別	火 災	建 物	2	7
		建 物 以 外	0	0
	交 通		2 2	2 1
	水 難		3	5
	自 然 災 害		0	0
	機 械		1	2
	建 物		1 4 4	1 4 9
	ガス・酸欠		2	1
	破 裂		0	0
	そ の 他		1 5 9	1 5 6
活 動 件 数		2 3 1	2 2 3	8
救 助 人 員		2 0 4	2 0 6	△ 2
1 ヶ 月 平 均 出 動 件 数		2 7 . 8	2 8 . 4	△ 0 . 6

36 署別救助出動状況

(令和6年中)

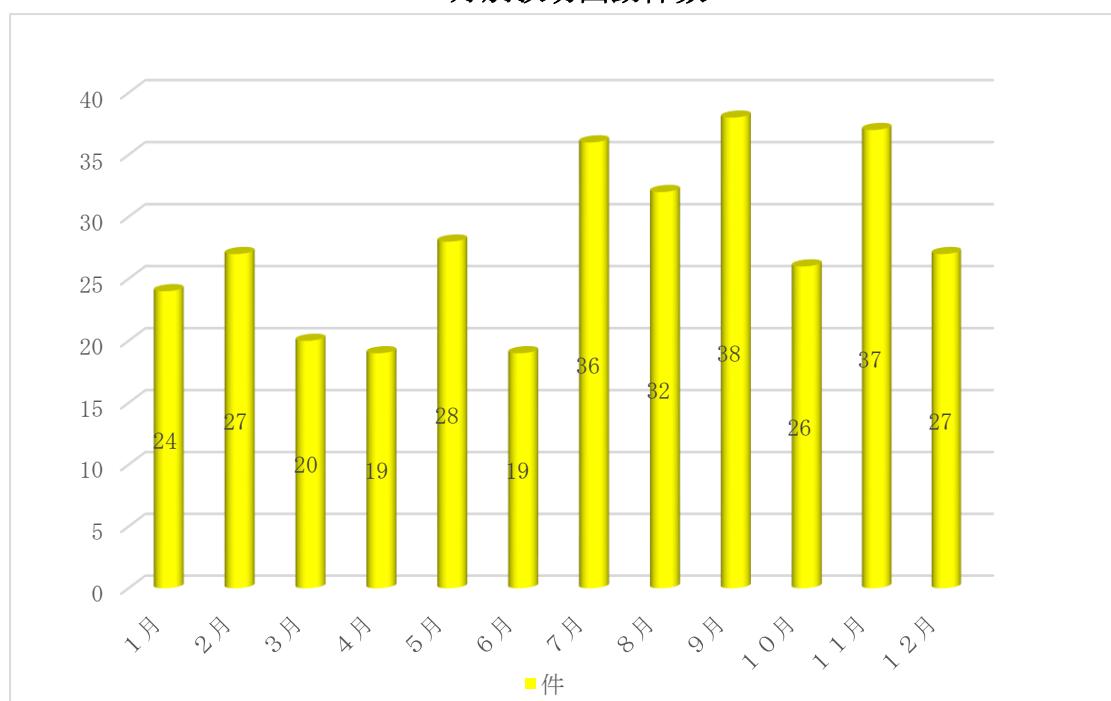
区分	事故種別	計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス ・ 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他
			建 物	建 物 以 外								
計	出動件数	333	2	0	22	3	0	1	144	2	0	159
	活動件数	231	2	0	22	3	0	1	144	2	0	57
	救助人員	204	2	0	25	3	0	1	144	2	0	27
	活動台数	298	4	0	39	5	0	1	171	2	0	76
	活動人員	1,138	26	0	145	19	0	4	647	8	0	289
中央消防署	出動件数	118	2		11				47	2		56
	活動件数	77	2		11				47	2		15
	救助人員	71	2		12				47	2		8
	活動台数	91	4		15				49	2		21
	活動人員	353	26		53				191	8		75
南消防署	出動件数	72			3			1	26			42
	活動件数	42			3			1	26			12
	救助人員	41			5			1	26			9
	活動台数	61			9			1	35			16
	活動人員	237			33			4	138			62
西消防署	出動件数	100			2	1			57			40
	活動件数	78			2	1			57			18
	救助人員	68			2	1			57			8
	活動台数	99			4	3			69			23
	活動人員	371			17	12			254			88
北消防署	出動件数	32			2	1			14			15
	活動件数	27			2	1			14			10
	救助人員	18			2	1			14			1
	活動台数	36			5	1			18			12
	活動人員	138			20	3			64			51
東消防署	出動件数	11			4	1						6
	活動件数	7			4	1						2
	救助人員	6			4	1						1
	活動台数	11			6	1						4
	活動人員	39			22	4						13

37 月別救助出動状況

(令和 6 年中)

区分 月別	出動件数	事故種別										活動件数	救助人員数		
		火災		交通	水難	自然災害	機械	建物	ガス・酸欠	破裂	その他				
		建物	建物以外		通難	灾害	械	物	欠	裂	他				
計	333	2	0	22	3	0	1	144	2	0	159	231	204		
1月	24	1		2				12			9	18	20		
2月	27			1				12			14	19	15		
3月	20			2	2			10			6	16	16		
4月	19	1		3				5	1		9	18	14		
5月	28			3				9			16	17	12		
6月	19				1			5			13	9	8		
7月	36			3				15			18	21	20		
8月	32			2				15			15	25	24		
9月	38							22			16	25	22		
10月	26			1				14			11	18	17		
11月	37			3				15			19	25	22		
12月	27			2				1	10	1		13	20	14	

月別救助出動件数



38 発生場所別救助出動状況

(令和6年中)

事故種別		計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス ・ 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他		
			建 物	建 物 以 外										
発生場所別		物	外	故	故	故	故	故	故	故	故	他		
計		333 (231)	2 (2)	0 (0)	22 (22)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	144 (144)	2 (2)	0 (0)	159 (57)		
屋 内	住 居	235 (173)	2 (2)						140 (140)			93 (31)		
	その他の屋内	9 (6)						1 (1)	3 (3)			5 (2)		
屋 外	道 路	高速自動車 国 道	0 (0)											
		一般国道	36 (19)			17 (17)				1 (1)		18 (1)		
	内 水 面		9 (9)			1 (1)	3 (3)					5 (5)		
	外 水 面		0 (0)											
	山 岳		1 (1)									1 (1)		
	その他の屋外		27 (19)			4 (4)			1 (1)	1 (1)		21 (13)		
地 下			0 (0)											
そ の 他			16 (4)									16 (4)		

※ () 内は活動件数

予 防 関 係



「文化財防火週間に伴う消防合同訓練」

39 防火対象物一覧

(令和7年4月1日現在)

用途	署所別	合計	中央消防署				南消防署			西消防署			北消防署			東消防署		
			小計	本署	佐保	南部	小計	本署	西大寺	小計	本署	富雄	小計	本署	東部	月ヶ瀬		
計		7,990	3,387	1,906	1,020	461	2,177	1,398	779	1,340	957	383	579	579	507	291	144	72
1	イ	8	7		7								1	1				
	口	191	52	20	14	18	40	29	11	42	28	14	20	20	37	9	17	11
2	イ	1	1	1														
	口	11	6	4	2		3	3		2		2						
	ハ	0																
	ニ	7	4	3	1		2	2		1	1							
3	イ	1	1	1														
	口	604	342	241	77	24	104	67	37	73	48	25	47	47	38	13	11	14
4		299	116	75	21	20	89	71	18	42	30	12	43	43	9	7		2
5	イ	183	153	102	41	10	18	12	6	2	1	1	1	1	9	4	5	
	口	2,755	935	478	377	80	1,010	595	415	569	447	122	228	228	13	12		1
6	イ	(1)	10	2	2		8	5	3									
	(2)	2	1	1						1		1						
	(3)	17	5	3	1	1	5	3	2	5	4	1	2	2				
	(4)	115	34	25	7	2	19	10	9	40	31	9	20	20	2		2	
	口	(1)	119	37	15	10	12	29	18	11	32	22	10	13	13	8	5	2
	(2)	1								1		1						
	(3)	0																
	(4)	8	2				2	1	1		2		2	2	1		1	
	(5)	24	8	3			5	5	4	1	5		5	3	3	1	2	
	ハ	(1)	72	19	7	5	7	20	17	3	22	16	6	9	9	2	1	1
	(2)	0																
	(3)	71	20	11	4	5	19	10	9	21	18	3	8	8	3	1	1	1
	(4)	24	4	1	1	2	8	6	2	6	2	4	6	6				
	(5)	148	71	27	15	29	31	22	9	30	16	14	7	7	9	3	6	
	ニ		23	8	5	3		8	6	2	7	6	1					
7			115	39	20	14	5	22	12	10	34	22	12	13	13	7	3	3
8			17	8	6	2		4	2	2	5	5						
9	イ	1					1	1										
	口	5	3	2	1		1	1							1			1

用途	署所別 合計	中央消防署				南消防署			西消防署			北消防署			東消防署			
		小計	本署	佐保	南部	小計	本署	西大寺	小計	本署	富雄	小計	本署	小計	本署	東部	月ヶ瀬	
10	6	1		1		2	2		1		1	2	2					
11	81	44	19	20	5	18	11	7	8	5	3	4	4	7	5	2		
12	イ	378	138	52	19	67	95	86	9	7	1	6	5	5	133	94	20	19
	口	1	1		1													
13	イ	50	38	25	11	2	7	7		4	3	1	1	1				
	口	2												2		2		
14	216	84	27	13	44	55	49	6	7	4	3	10	10	60	48	8	4	
15	729	320	160	102	58	193	141	52	74	54	20	41	41	101	58	37	6	
16	イ	1,191	638	430	173	35	232	137	95	220	144	76	64	64	37	18	13	6
	口	424	197	113	60	24	118	63	55	73	48	25	26	26	10	6	2	2
16の2	0																	
16の3	0																	
17	77	45	24	17	4	10	5	5	4	1	3	3	3	15	3	10	2	
18	3	3	3															
19	0																	
20	0																	

40 用途別中高層建築物状況

(令和7年4月1日現在)

用途	階数別	計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階以上	
		計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階以上	
1	イ	1	1									
	ロ	18	12	2	4							
2	イ	1				1						
	ロ	4	2	1	1							
	ハ	0										
	二	4	3	1								
3	イ	0										
	ロ	42	29	4	4	1	2	2				
4		33	25	7	1							
5	イ	68	23	19	7	9	2	6		1	1	
	ロ	2,016	727	272	726	84	62	77	49	13	6	
6	イ	(1)	9	3	3		1	2				
		(2)	2	1		1						
		(3)	13	2	5	5		1				
		(4)	26	23	3							
	ロ	(1)	56	29	19	6	1		1			
		(2)	0									
		(3)	0									
		(4)	1		1							
		(5)	4	3	1							
	ハ	(1)	10	4	4	2						
		(2)	0									
		(3)	13	12	1							
		(4)	1	1								
		(5)	18	15	1	1	1					
二		2	1	1								
7		200	126	56	10	5	1	1	1			
8		4	3	1								
9	イ	0										
	ロ	1	1									
10		1	1									
11		22	17	4		1						

階数別 用途		計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階
12	イ	63	50	11	2						
	ロ	1	1								
13	イ	16	11	2	3						
	ロ	0									
14		40	25	11	3	1					
15		303	153	76	37	26	9	1	1		
16	イ	665	254	196	101	57	28	16	7	2	4
	ロ	264	122	62	34	21	11	7	4	3	
16の2		0									
16の3		0									
17		1	1								
18		0									
19		0									
20		0									

41 消防同意処理状況

(令和6年中)

月別 区分	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
取扱件数	305	16	14	22	32	30	24	21	25	27	32	28	34
確認申請	229	10	12	16	18	25	22	21	18	21	29	11	26
許可申請	56	4	1	3	13	5	2		4	6	3	10	5
計画通知	20	2	1	3	1				3			7	3

42 過去5カ年の建築同意処理件数状況

年別 区分	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年
計	305	278	314	261	265
新築	252	240	266	235	254
増築	36	23	41	26	7
その他	17	15	7		4

43 消防法及び火災予防条例に基づく各種届出状況

(令和6年中)

区分	月別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
計		8,722	538	617	794	845	810	715	649	678	637	893	810	736
防火・防災管理者選任届		150	8	4	5	11	16	14	18	15	9	26	15	9
防火・防災管理者解任届		13	1		2	2	2						2	2
防火・防災管理者選解任届		471	32	27	34	51	62	58	42	33	40	39	25	28
統括防火・防災管理者選任届		8	1	1				2	2			1	1	
統括防火・防災管理者解任届		1					1							
統括防火・防災管理者選解任届		8			1			2		1	3		1	
消防計画(防火・防災)作成		531	26	26	30	55	62	67	53	43	44	57	35	33
消防計画(防火・防災)変更届		155	11	13	14	17	19	9	12	14	15	12	12	7
全体についての消防計画(防火・防災)作成届		16	1	1	1		1	3	2	1	2	2	2	
全体についての消防計画(防火・防災)変更届		4									1		1	2
工事期間中における消防計画作成届		2							1				1	
自衛消防組織設置届		3					1					1	1	
自衛消防組織変更届		4				1		2					1	
自衛消防訓練通知書														
消防訓練等実施計画通知届		2,126	132	142	182	170	186	178	133	126	188	268	243	178
管理権原者変更届出書		4				1		1				1		1
管理権原者(防災)変更届出														
改善(計画)報告書		4			2		1						1	
表示マーク交付(更新)申請		8		2	2	3							1	
見学通知書		16	1						2	2	2	7	2	
消防法令適合通知書交付申請(興行場)														
消防法令適合通知書交付申請(公衆浴場)		1	1											
消防法令適合通知書交付申請(旅館)		19	1		1	1	1	3	3	1		3	1	4
禁止行為の解除承認申請届		84	5	6	18	11	18	7	2	7	2	3	3	2
劇場等の客席特例適用申請書														
指定建造物工事等届		4			2				1			1		
指定建造物防災施設設置届		2		1										1
核燃料物質等取扱届(新規・変更)		1							1					
ヒートポンプ冷暖房機設置届		1						1						
ボイラーセット届		14		2		1				5	1		4	1
乾燥設備設置届		22	2		3	1		7	3	3		2		1
給湯湯沸設備設置届		11		1	2					2	4	1		1
温風暖房機設置届														
炉設置届		4								4				
厨房設備設置届														
サウナ設備設置届		5		1		2	1	1						
蓄電池設備設置届		17	2	2	1	1	3	1			5			2
発電設備設置届		23			3	1	3	2	1	2	3	5	2	1
変電設備設置届		61	2	2	3	3	5	12	4	8	2	11	6	3

区分	月別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
急速充電設備設置届		5			1						1		2	1
防火対象物使用開始届		444	36	34	50	37	35	28	40	33	31	49	26	45
防火対象物点検結果報告		272	13	33	31	21	19	19	18	21	20	17	23	37
防火対象物点検報告特例認定申請書		6		1		1						3	1	
防災管理点検結果報告		302	13	33	31	51	19	19	18	21	20	17	23	37
防災管理点検報告特例認定申請書		1											1	
消防用設備等設計届		136	5	13	15	20	13	10	10	8	12	12	7	11
消防用設備等設置届		675	58	54	84	60	51	49	51	51	50	73	40	54
消防用設備等着工届		243	17	32	21	29	16	17	20	23	20	14	14	20
消防用設備等点検結果報告届		2405	136	155	203	235	224	175	175	211	143	237	284	227
消防用設備等特例申請書		46	3	3	10	1	5	6		2	2	3	8	3
意見書交付申請書														
共同防火管理協議事項変更届														
地下貯蔵タンク等在庫管理等に関する計画届														
完成検査前水張検査（他市設置）		28	1	5	3	8	6	1	3				1	
軽微な変更届		56	1	12	9	4	7	2	6	2	3	5	4	1
完成検査申請（設置）		4				1				1		2		
完成検査申請（変更）		23	1	3	1	6	3		1	2		2	1	3
危険物施設廃止届		10	2		2	2		3					1	
設置許可申請		5		1			1			1	1			1
変更許可申請（種類・数量・倍数・位置等）		20	1		4	3	1		2	4		2	1	2
危険物仮貯蔵・仮取扱申請（仮取扱）届		1	1											
危険物施設仮使用承認申請		18	1	1	3	3	1		2	2		2	1	2
危険物施設関係者住所氏名変更届		69	10	1	7	6	5	2	14	16		3	4	1
危険物施設使用休止・再開届（休止）		2					1							1
危険物職務代行者選任解任届		15	3			6	3	1	1			1		
危険物保安監督者選任解任届		48	2	1	5	10	4	9		3	4	1	3	6
譲渡引渡届		3	2		1									
予防規程認可申請（制定・変更）		18			2	6	3		4		2			1
危険物取扱者選任解任届		2												2
危険物品名・数量又は指定数量の倍数変更届														
圧縮アセチレンガス等貯蔵・取扱開始届		25		1	2	1	1			5	1	2	9	3
圧縮アセチレンガス等貯蔵・取扱廃止届		4	1			1	1					1		
指定可燃物・貯蔵取扱届出書		4			1		1				1			1
指定可燃物・貯蔵取扱・廃止届出書		1								1				
少量危険物・貯蔵取扱届出書		17	1	2		1	2		4	4	2			1
少量危険物・貯蔵取扱廃止届出書		16	2	1	2		4	2				4	1	
ミニローリー・貯蔵取扱届出書		5	2				2					1		
ミニローリー・貯蔵取扱廃止届出書														
危険物施設等災害発生届														

44 類別、数量別危険物施設数

(令和7年4月1日現在)

製造所等の別 区分		計 算	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			
				屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売	一 般
施 設 数		442	7	83	27	14	109	0	47	7	92	1	0	55
量 別	5倍以下	208	1	51	8	7	46		44	4	19			28
	5倍をこえ 10倍以下	82	1	18	8	6	26			1	6			16
	10 " 50 "	86	3	9	7	1	35		1	2	18	1		9
	50 " 100 "	21		1	4				2		12			2
	100 " 150 "	5	1	2							2			
	150 " 200 "	4	1								3			
	200 " 1000 "	36		2			2				32			
	第1類	2		2										
類 別	第2類	0												
	第3類	0												
	第4類	433	6	76	27	14	109		47	7	92	1		54
	第5類	0												
	第6類	0												
	混 在	7	1	5										1

45 危険物施設数及び各種許認可処理状況

(令和6年中)

区分 施設数 処理状況	計	製造所	貯 �藏 所							取 扱 所			
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	第一種販売	第二種販売	一般
	442	7	83	27	14	109	0	47	7	92	1	0	55
計	164	16	19	10	28	7	0	2	2	64	0	0	16
各種許認可届出状況	設置許可	5	1							1	2		1
	変更許可	20	4		1		1		1		10		3
	完成検査(設置)	4				2				1			1
	完成検査(変更)	23	5		1			1	1	11			4
	仮使用	18	4		1		1			9			3
	水圧検査	0											
	水張検査	28				28							
	品名・数量・倍数変更届	5	1	3						1			
	譲渡引渡届	3		1	1					1			
	廃止届	10		4		3				3			
	保安監督者選解任届	48	1	11	6					26			4

46 奈良市所在の指定文化財等

(令和7年3月25日現在)

1 指定文化財 総数980件

【件数】

分類		国指定			県指定	市指定	総数
有形文化財	建造物 （内は棟数）	国宝 31 (35)	重要文化財 75 (130)	計※ 105 (165)	42 (81)	28 (33)	175 (279)
	美術工芸品	絵画 6	28	34	18	40	92
		彫刻 49	198	247	34	39	320
		工芸品 26	97	123	18	9	150
		書跡・典籍 4	61	65	6	4	75
		古文書 1	25	26	6		32
		考古資料 4	6	10	1	7	18
		歴史資料 5	5	5	5	5	15
小計		国宝 121	重要文化財 495	計※ 615	小計 130	小計 132	小計 877
無形文化財		重要無形文化財			1		1
民族文化財	有形民俗文化財	重要有形民俗文化財			2	2	7
	無形民俗文化財	重要無形民俗文化財			3	10	3
記念物	史跡	特別史跡 2	史跡 25	計 27	5	8	40
	名勝	特別名勝 2	名勝 6	計 8	1	2	11
	天然記念物	特別天然記念物 1	天然記念物 5	計 6	6	12	24
	小計	特史名天 5	史名天 36	計 41	小計 12	小計 22	小計 75
総数		661			155	164	980

※ 有形文化財（建造物）の国指定の合計件数が国宝と重要文化財の件数の和より少ないのは、1件に国宝と重要文化財の両方を含むものがあるためです。

※ ほかに独立行政法人国立文化財機構（住所東京都）が所有し奈良国立博物館及び奈良文化財研究所が保管する国宝14件（絵画4、彫刻1、工芸品3、書籍・典籍3、古文書3）と重要文化財119件（絵画44、彫刻16、工芸品17、書籍・典籍18、古文書12、考古資料11、歴史資料1）があります。

2 旧村指定文化財 総数72件（旧月ヶ瀬村指定文化財30件、旧都祁村指定文化財42件）

※ 国選定保存技術、県指定文化財、市指定文化財と重複している12件を除いています。

3 登録有形文化財 総数126件

- ・ 建造物 124件（42箇所）
- ・ 書籍・典籍 1件
- ・ 歴史資料 1件

4 選定保存技術 総数2件（国指定2件、県指定0件）

47 火災予防広報等活動状況

(令和6年中)

区分 月別	防火訓練等		電話パトロール	広報活動	消防庁舎施設見学		防火訪問
	回数	参加人員			回数	参加人員	ひとり暮らし一般家庭
計	65	5,411	15	969	15	815	3,904
1	6	497		71	1	60	
2	7	738	1	50	1	50	
3	2	22	4	71			
4	2	25		22	1	15	
5	3	94	1	29			
6	4	629	4	46			
7	5	304		136			
8	2	54		144			
9	4	305		72	1	75	
10	9	583		25	5	345	296
11	14	1,521	5	113	5	243	2,540
12	7	639		190	1	27	1,068

48 女性防災クラブ・幼年消防クラブの現状

(1) 女性防災クラブ

(令和7年4月1日現在)

番号	クラブ名	クラブ員数	結成年月日
1	鶴舞地区	48	S46. 11. 30
2	大柳生地区	解散	S49. 7. 19
3	狭川地区	10	S49. 8. 6
4	精華地区	24	S50. 3. 16
5	鳥見地区	83	H 8. 6. 13
6	朱雀地区	52	H 9. 2. 22
7	左京地区	62	H 9. 11. 18
8	明治地区	74	H10. 3. 28
9	済美地区	54	H10. 8. 21
10	済美南地区	82	H11. 9. 23
11	鼓阪地区	72	H11. 11. 23
12	飛鳥地区	78	H12. 4. 16
13	椿井地区	69	H12. 4. 26
14	帯解地区	78	H13. 5. 20
15	都祁地区	64	H18. 10. 22
16	東市	85	H21. 3. 8
17	伏見地区	18	H26. 3. 16
18	平城地区	76	H27. 3. 12
19	青山地区	9	H29. 3. 4
20	奈良帝塚山地区	25	H29. 3. 11
21	富雄南地区	42	H30. 3. 4
22	西大寺北地区	休止中	H31. 2. 22
23	平城西地区	20	R 2. 3. 18
計		1,125	



「奈良市女性防災クラブ員普通救命講習会」

(2) 幼年消防クラブ

(令和7年4月1日現在)

名 称	クラブ員数	結成年月日	所 在 地	
計	148			
1 佐保山こども園	28	S62. 6. 11	奈良市法蓮町 1368 番地	
2 みずほ保育園	10	H 5. 6. 30	奈良市北登美ヶ丘六丁目 28 番地の 10	
3 あいのそのこども園	18	H10. 10. 2	奈良市法蓮町 986 番地の 73	
4 中登美こども園	40	H10. 10. 2	奈良市中登美ヶ丘一丁目 4162 番地	
5 桜華保育園	24	H22. 11. 9	奈良市二名一丁目 2361 番地の 3	
6 佐保川こども園	28	H22. 11. 9	奈良市法蓮町 393 番地	

(3) 奈良市ジュニア防災クラブ

(令和7年4月1日現在)

名 称	クラブ員数	結成年月日
奈良市ジュニア防災クラブ	28	令和元年 11月 9日



「幼年消防クラブ結成のつどい」

火 災 統 計



「令和7年度火災調査事例検討会」

49 火災概要

令和6年中に発生した火災件数は80件で、前年（75件）より5件増加しました。

(1) 火災種別では、建物火災47件、林野火災0件、車両火災14件、船舶火災0件、航空機火災0件、その他の火災19件となっており、前年と比較すると建物火災8件の増加、林野火災5件の減少、車両火災6件の増加、船舶火災増減なし、航空機火災増減なし、その他の火災4件の減少となっています。

出火原因別では、上位からこんろ9件（約11.3%）、火入れ7件（約8.8%）、たばこ、電気器具配線、放火の疑い各6件（各7.5%）となっています。

(2) 建物焼損床面積は1,426m²で、前年（1,686m²）より260m²減少しました。

建物焼損表面積は221m²で、前年（61m²）より160m²増加しました。

林野焼損面積は10aで、前年（41a）より31a減少しました。

(3) 死傷者の内、死者は3名で前年（4名）より1名減少し、負傷者は10名で前年（14名）より4名減少しました。

(4) 損害額は188,999千円で、前年（104,808千円）より84,191千円増加しました。

(5) 出火率（人口1万人当たりの出火件数）は、2.2で前年（2.1）より0.1ポイント増加となりました。

(6) 月別火災発生状況は、火災の多い月は10月が11件で最も多く、次いで9月の10件、1月の9件で、少ない月は5月の1件でした。

(7) 建物火災の発生状況については、用途別にみると専用住宅22件、併用住宅5件、共同住宅9件と住宅からの出火が建物火災全体の約76.6%を占めています。

建物火災の主な出火原因では、上位からこんろ9件（約19.1%）、配線器具6件（約12.8%）、電灯・電話等の配線、ストーブ各4件（各約8.5%）となっています。

50 火災概況（前年との比較）

区分	年別			比 較 △ 減
		令和 6 年	令和 5 年	
出火件数	合 計	80	75	5
	建 物	47	39	8
	林 野	0	5	△ 5
	車 両	14	8	6
	船 舶	0	0	0
	航 空 機	0	0	0
	そ の 他	19	23	△ 4
焼損棟数	合 計	64	46	18
	全 燃	14	7	7
	半 燃	3	8	△ 5
	部 分 燃	14	15	△ 1
	ぼ や	33	16	17
焼損面積	建物焼損床面積 (m ²)	1,426	1,686	△ 260
	建物焼損表面積 (m ²)	221	61	160
	林野焼損面積 (a)	10	41	△ 31
り災世帯数	合 計	47	42	5
	全 損	8	8	0
	半 損	1	5	△ 4
	小 損	38	29	9
り災人員	合 計	96	96	0
	全 損	14	16	△ 2
	半 損	1	11	△ 10
	小 損	81	69	12
死傷者	死 者	3	4	△ 1
	負 傷 者	10	14	△ 4
損害額	合 計 (千円)	188,999	104,808	84,191
	建 物	170,437	100,480	69,957
	爆 発	0	0	0
	林 野	0	0	0
	車 両	13,403	4,039	9,364
	船 舶	0	0	0
	航 空 機	0	0	0
	そ の 他	5,159	289	4,870
出火率(件) (人口 1 万人当たり)		2.2	2.1	0.1

※ 林野焼損面積 (a) は 1 a 未満は四捨五入にて算出、以下同様

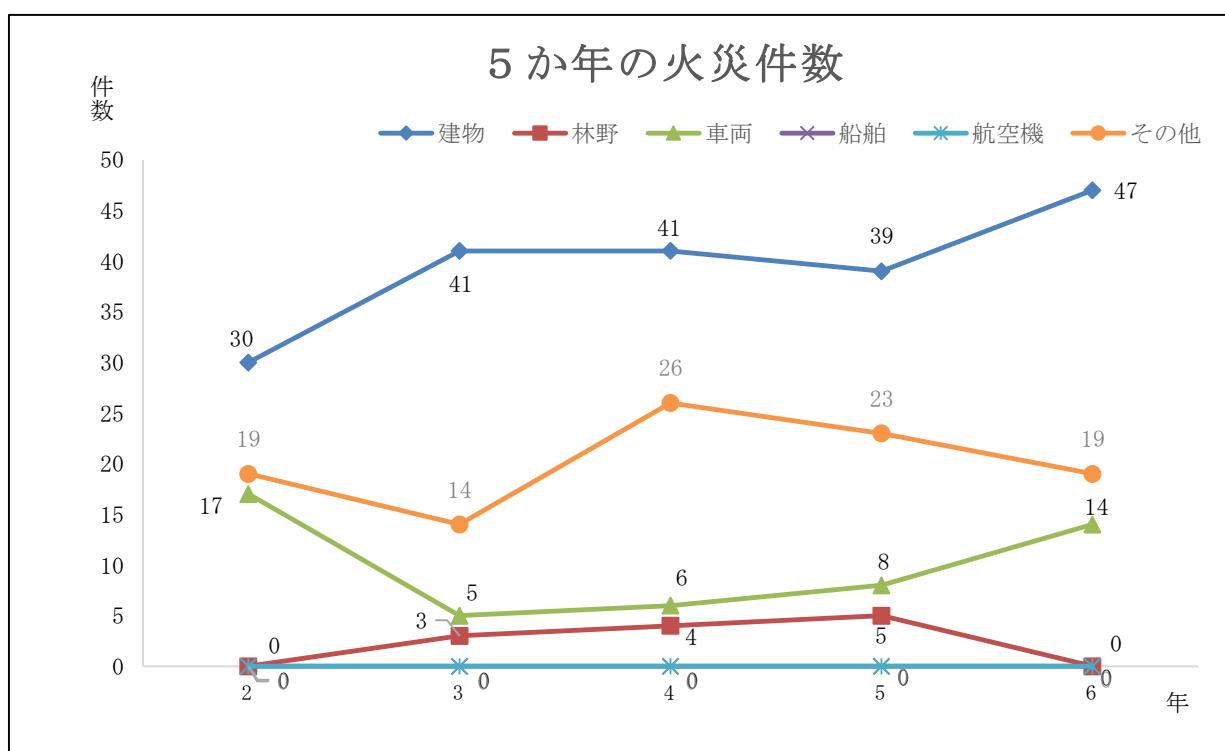
51 署別火災概況

(令和6年中)

署別	総計	中央消防署	南消防署	西消防署	北消防署	東消防署
合 計	80	32	16	20	6	6
建 物	47	19	10	12	4	2
林 野	0					
車 両	14	6	3	5		
船 舶	0					
航 空 機	0					
そ の 他	19	7	3	3	2	4
合 計	64	33	13	12	4	2
全 燃	14	9	2	1		2
半 燃	3		3			
部 分 燃	14	8	3	2	1	
ぼ や	33	16	5	9	3	
建物焼損床面積 (m ²)	1,426	757	245	30	16	378
建物焼損表面積 (m ²)	221	208		4	9	
林野焼損面積 (a)	10	2		8		
合 計	47	24	9	11	3	0
全 損	8	6	1	1		
半 損	1			1		
小 損	38	18	8	9	3	
合 計	96	45	20	25	6	0
全 損	14	10	3	1		
半 損	1			1		
小 損	81	35	17	23	6	
死 者	3	3				
負 傷 者	10	4	2	3		1
合 計 (千円)	188,999	40,039	40,310	9,726	1,017	97,907
建 物	170,437	27,977	39,730	7,036	1,016	94,678
爆 発	0					
林 野	0					
車 両	13,403	11,194	580	1,629		
船 舶	0					
航 空 機	0					
そ の 他	5,159	868		1,061	1	3,229

52 過去5か年の火災状況

区分 年別	出火件数							焼損棟数	り災世帯数	り災人員	焼損面積			死傷者		損害額 (千円)				
											建物		林野	死傷者						
	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他				床面積 (m ²)	表面積 (m ²)	面積 (a)	死者	負傷者					
令和6年	80	47	0	14	0	0	19	64	47	96	1,426	221	10	3	10	188,999				
令和5年	75	39	5	8	0	0	23	46	42	96	1,686	61	41	4	14	104,808				
令和4年	77	41	4	6	0	0	26	48	37	79	905	89	12	6	5	122,767				
令和3年	63	41	3	5	0	0	14	63	44	108	955	227	37	0	13	79,181				
令和2年	66	30	0	17	0	0	19	44	30	50	1,174	541	0	3	11	229,851				



53 校区別火災状況

区分 校区別	出火件数							焼損棟数	り災世帯数	り災人員	焼損面積			死傷者		損害額(千円)
	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他				建物	林野	死者	負傷者		
	床面積(m ²)	表面積(m ²)	面積(a)													
総計	80	47	0	14	0	0	19	64	47	96	1,426	221	10	3	10	188,999
椿井	0															
飛鳥	3	1		1			1	1	1	3						994
鼓阪	1	1						1	1	4	10				1	132
済美	5	3		1			1	9	6	10	283	10				13,549
佐保	2	2						5	6	9	99	2			1	1,619
大宮	4	3					1	3	1	2	10	2				7,936
都跡	5	1		1			3	1			4					260
大安寺	0															
東市	4	3					1	7	6	10	287	150		1		10,889
平城	4	2					2	2	2	4	16	8				430
辰市	3	1		2				1	1	2	1					565
明治	3	3						3	1	1	40	12		1	1	204
帶解	4	1		2			1	1			32					9,236
伏見	2	2						5	5	12	92					1,239
富雄南	3	2		1				2	1	6	14					1,277
富雄北	2	1		1				1								114
田原	0															
柳生	0															
興東	2	1					1	1			88					137
あやめ池	2	2						2	2	2		1		1		12
鶴舞	1	1						1	1	2					1	
鳥見	2	1					1	1	1	2						35
登美ヶ丘	1			1												1,000
六条	3	3						3	3	6	138			2		30,335
青和	0															
東登美ヶ丘	3	2		1				2	2	7						19
二名	3	2					1	2	2	4		3				547
西大寺北	1	1						1								6
富雄第三	0															
平城西	0															
大安寺西	0															
三碓	3	1		1			1	1	2	2	16		8		1	6,722
ならやま	1	1						1				1				584
朱雀	1	1						1	1	2						3
済美南	2	2						2	1	1				1		89
鼓阪北	2	1					1	1	1	5		2				132
伏見南	0															
佐保台	0															
佐保川	4	1		2			1	2			6	32		1		3,164
左京	0															
月ヶ瀬	0															
都祁	4	1					3	1			290			1		97,770

※ 平成29年4月1日以降、精華校区は帶解校区に、並松、吐山及び六郷校区は都祁校区に、右京小学校及び神功小学校はならやま小学校区に統合。

54 気象別火災状況

(1) 風速別

(令和6年中)

火災種別 \ 風速(m/s)	合計	0.0以上 1.0未満	1.0以上 2.0未満	2.0以上 3.0未満	3.0以上 4.0未満	4.0以上 5.0未満	5.0以上 6.0未満	6.0以上
合計	80	8	20	22	9	7	5	9
建物	47	4	12	15	5	6	3	2
林野	0							
車両	14	3	4	2	2			3
船舶	0							
航空機	0							
その他	19	1	4	5	2	1	2	4

(2) 湿度別

(令和6年中)

火災種別 \ 湿度(%)	合計	40未満	40以上 50未満	50以上 60未満	60以上 70未満	70以上 80未満	80以上 90未満	90以上
合計	80	9	10	15	10	12	8	16
建物	47	4	4	8	6	9	5	11
林野	0							
車両	14	3	3	1	1	1	2	3
船舶	0							
航空機	0							
その他	19	2	3	6	3	2	1	2

55 覚知方法別火災状況

(令和6年中)

火災種別 \ 覚知方法別	合計	火災報知専用電話	加入電話	警察電話	駆け付け通報	事後聞知	その他
合計	80	61	3	2	0	14	0
建物	47	33	3	1		10	
林野	0						
車両	14	13				1	
船舶	0						
航空機	0						
その他	19	15		1		3	

56 曜日別火災状況

(令和6年中)

火災種別 \ 曜日別	合計	日	月	火	水	木	金	土
合計	80	10	11	8	18	12	8	13
建物	47	4	10	6	9	5	7	6
林野	0							
車両	14	2	1		5	1	1	4
船舶	0							
航空機	0							
その他	19	4		2	4	6		3

57 覚知時間別火災状況

(令和6年中)

覚知時間別火災概況

火災種別 時間別	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
合計	80	47	0	14	0	0	19
0時～1時	0						
1時～2時	1	1					
2時～3時	2	2					
3時～4時	2	2					
4時～5時	0						
5時～6時	0						
6時～7時	4	2					2
7時～8時	0						
8時～9時	3	2		1			
9時～10時	7	3		4			
10時～11時	2	2					
11時～12時	7	2		1			4
12時～13時	5	4		1			
13時～14時	4	1		1			2
14時～15時	5	2		1			2
15時～16時	7	2		1			4
16時～17時	9	4		1			4
17時～18時	6	6					
18時～19時	0						
19時～20時	3	2		1			
20時～21時	4	3					1
21時～22時	4	4					
22時～23時	3	3					
23時～24時	2			2			

※ 0時～1時は0時を含め1時は含まない、以下同様

58 月別火災状況

(令和6年中)

月別火災概況

区分 月別	出火件数						焼損棟数				り災世帯数				死傷者	焼損面積			火災別損害額(千円)									
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	金損	半損	小損	建物	床面積(m ²)	林野(a)	計	建物	爆発	林野	車両	船舶	航空機	その他	
1月	9	4		2			3	7	1		2	4	7	3		4	10		1	99	2	2,482	1,895		586		1	
2月	5	3					2	3	1		2	3	1		2	6		1	138		30,570	30,568					2	
3月	7	4					3	8	1		2	5	6		6	9		1	139	4	577	575					2	
4月	8	5		3			5	1			4	4	1		3	10	1		148	149	8	13,892	11,492		2,158		242	
5月	1		1				0				0										6,202			5,760		442		
6月	2		1				1	0			0										9			9				
7月	8	6		2			6			2	4	3		3	9		2	10	2		10,200	7,939		2,261				
8月	6	3					3	3			3	2		2	4		1				183	3					180	
9月	10	7					3	13	3	1	4	5	10	3	1	6	14		1	335	11	24,098	20,821		48		3,229	
10月	11	7		2			2	10	4	2	2	2	6		6	20		1	213		2,684	1,654		969		61		
11月	7	5		1			1	5	1		2	2	5		5	13	1	1	48	20		1,531	531		1,000			
12月	6	3		2			1	4	2		2	1		1	1	1	1	296	33	2	96,571	94,959		612		1,000		
計	80	47	0	14	0	0	19	64	14	3	14	33	47	8	1	38	96	3	10	1,426	221	10	188,999	170,437	0	0 ##### 0	0	5,159
昨年計	75	39	5	8	0	0	23	53	12	12	16	13	42	8	5	29	96	4	14	1,686	61	41	104,808	100,480	0	0 4,039 0	0	289
比較△減	5	8	△ 5	6	0	0	△ 4	11	2	△ 9	△ 2	20	5	0	△ 4	9	0	△ 1	△ 4	△ 260	160	△ 31	84,191	69,957	0	0 9,364 0	0	4,870

59 用途別・原因別火災状況

(令和6年中)

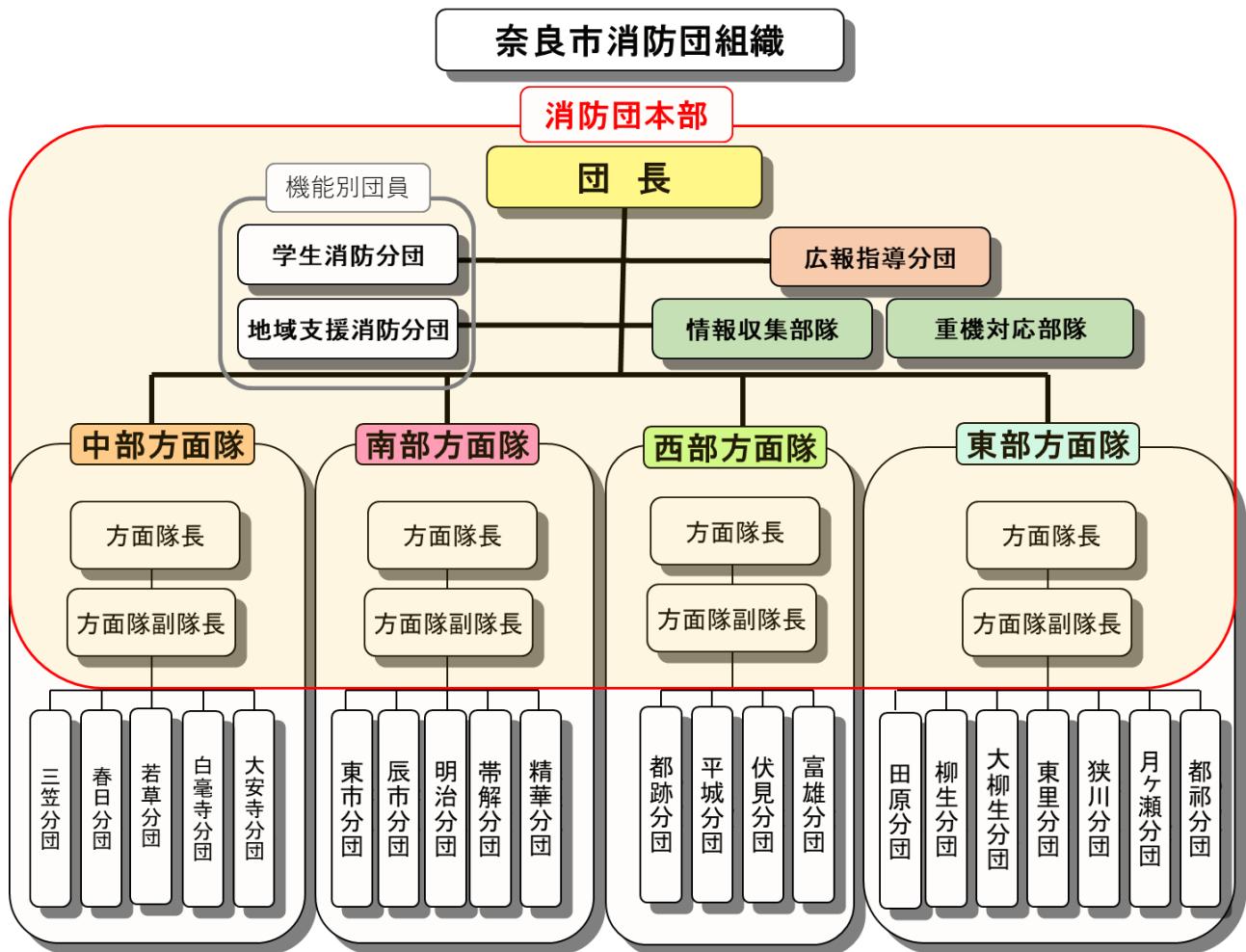
原因別火災概況

火災種別	原因別	合	た	こ	か	風	呂	燒	ス	こ	ボ	煙	排	電	電	電	電	内	配	火	マ	た	溶	灯	衝	取	火	放	放	そ	不				
		計	ば	ん	ま	か	爐	却	ト	た	イ	突	・	氣	機	器	裝	管	燃	線	あ	ツ	チ	接	機	突	の	入	火	の	疑	の	明		
用途別		計	こ	ろ	ど	ど	炉	ブ	つ	ラ	・	道	管	器	置	電	電	内	配	火	マ	チ	接	機	突	の	入	火	の	疑	の	明			
	合計	81	6	9	0	0	0	0	0	4	0	0	0	5	4	1	5	0	6	0	1	1	0	3	0	1	7	0	6	15	7				
	小計	48	2	9	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	1	4	0	6	0	0	0	0	3	0	1	2	0	2	7	3				
建物用途	専用住宅	22	1	6						3					2	1	1		1						1		1	1			2	2			
	併用住宅	5																		1											1	3			
	共同住宅	10	1	1						1					1	1	1								2						1	1			
	劇場等	0																																	
	公会堂等	0																																	
	キャバレー等	0																																	
	遊技場等	0																																	
	風俗営業	0																																	
	カラオケボックス等	0																																	
	料理店等	2		1																1															
	飲食店	2		1																	1														
	物品販売店舗等	2																		1													1		
	旅館等	0																																	
	病院等	0																																	
	グループホーム等	0																																	
	社会福祉施設等	0																																	
	幼稚園等	0																																	
	小学校等	0																																	
	図書館等	0																																	
	公衆浴場	0																																	
	特殊浴場	0																																	
	停車場等	0																																	
	神社・寺院等	0																																	
	工場等	1																		1															
	映画スタジオ等	0																																	
	駐車場等	0																																	
	航空機等格納庫	0																																	
	倉庫	2																															2		
	事務所等	0																																	
	複合用途(特定)	1																		1															
	複合用途(非特定)	1																	1																
	地下街	0																																	
	準地下街	0																																	
	重要文化財等	0																																	
	アーケード	0																																	
	山林	0																																	
	総務省令で定める舟車	0																																	
林野火災		0																																	
車両火災		14																5															5	2	
船舶火災		0																																	
航空機火災		0																																	
その他		19	4																													5	4	3	2

消防団関係



「広報指導分団全国消防操法大会 訓練始め式」

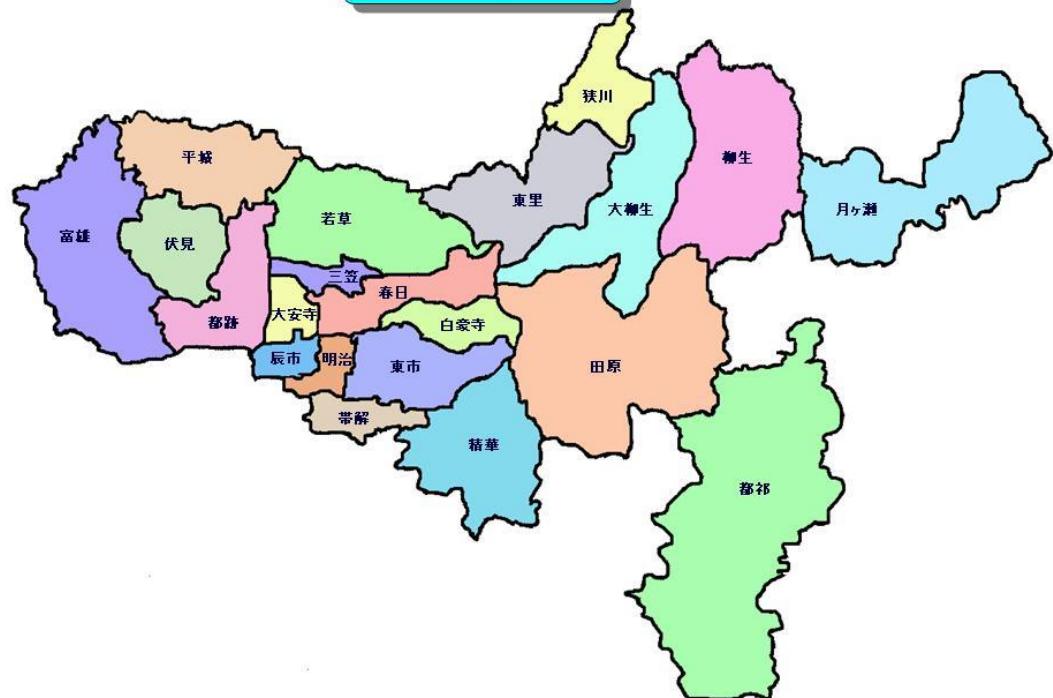


「倒壊建物での救出訓練（奈良市総合防災訓練）」

方面隊別管轄図



分団別管轄図



61 消防団員の階級別定員数

(単位 人)

消防 団 員 の 配 置 編 成

階級別 分団別	団長	方面 隊長	方面隊 副隊長	分団 長	副分 団長	部長	班長	団員	合計
消防団本部	1	4	9						14
広報指導分団				1	1	2	2	34	40
学生消防分団								30	30
地域支援消防分団								200	200
情報収集部隊		部隊長(1) 副部隊長(1)	小隊長(2)			副小隊長(2) 隊員(6)			(12)
重機対応部隊		部隊長(1) 副部隊長(1)				隊員(10)			(12)
中部方面	三笠分団			1	1	2	3	13	20
	春日分団			1	1	2	3	13	20
	若草分団			1	1	2	3	20	27
	白毫寺分団			1	1		1	7	10
	大安寺分団			1	1	2	3	18	25
南部方面	東市分団			1	1	2	3	23	30
	辰市分団			1	1	2	3	23	30
	明治分団			1	1	2	3	23	30
	帶解分団			1	1	2	3	23	30
	精華分団			1	1	2	3	33	40
西部方面	都跡分団			1	1	3	5	20	30
	平城分団			1	1	2	3	23	30
	伏見分団			1	1	2	3	23	30
	富雄分団			1	2	5	6	46	60
東部方面隊	田原分団			1	2	5	5	88	101
	柳生分団			1	2	6	6	66	81
	大柳生分団			1	2	5	5	54	67
	東里分団			1	1	2	2	36	42
	狭川分団			1	1	2	2	31	37
	月ヶ瀬分団			1	2	5	5	55	68
	都祁分団			1	3	11	11	112	138
計		1	4	9	22	29	68	83	1,014
									1,230

※ 括弧内は、消防団員から任命される情報収集部隊及び重機対応部隊の部隊長、副部隊長、小隊長、副小隊長及び隊員の人数を内数で示す。

62 消防団員の新任状況

(令和7年4月1日現在)

階級	新任団員数	新任団員数のうち								新任団員数のうち 41歳以上 の再入団員数
		21歳未満	21歳以上 25歳以下	26歳以上 30歳以下	31歳以上 35歳以下	36歳以上 40歳以下	41歳以上 45歳以下	46歳以上 50歳以下	51歳以上	
団員	83	6	6	10	6	13	10	10	22	18
班長										
部長										
副分団長										
分団長										
副団長										
団長										
合計	83	6	6	10	6	13	10	10	22	18

63 消防団員の退職状況

(令和7年3月31日現在)

階級	退職消防団員数	退職消防団員数のうち							整理統合	
		在職年数								
		5年未満 10年未満	5年以上 15年未満	10年以上 20年未満	15年以上 25年未満	20年以上 30年未満	25年以上 30年未満	30年以上		
団員	56	24	15	7	4	5	1			
班長	3			1		2				
部長	12		1	1	5	4	1			
副分団長	5				2	2		1		
分団長	6		1			2	2	1		
副団長	0									
団長	1							1		
合計	83	24	17	9	11	15	4	3		

退職事由								
自己都合	定年など	傷病			死亡			整理統合
		公務	その他	公務	その他			
68	—	—			1		1	—

64 在職年数別消防団員数

(令和7年4月1日現在)

在職年数		5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団員数	985	303	231	174	177	54	32	14

65 消防団員の職業状況

(令和7年4月1日現在)

職業構成															分類不能の産業	その他の
農業	林业	漁業	鉱業	建設業	製造業	水道業	電気・ガス熱供給業	運輸通信業	卸売業	飲食店	金銭業	保険業	不動産業	サービス業	公務(他に分類されないもの)	
62	5	0	2	119	166	38	59	99	31	12	183	3	68	37	5	96



「令和7年出初式 学生消防分団による行進」

66 消防団員の表彰状況

(令和6年度中)

階級別 表彰別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
長官永年勤続功労章		2	1					3
日本消防協会功績章		2						2
日本消防協会精績章			2					2
日本消防協会勤続章					2	1		3
県知事表彰				4	2	2	2	10
奈良県消防大会知事表彰								
県消防協会長表彰			1	2	3	5	5	16
奈良県消防大会協会長表彰								
奈良市支部長表彰				1	2	2	27	32
奈良市功労者表彰				5	3	3	21	32
奈良市有功者表彰			4	1				5
奈良市長表彰				2	5	4	18	29
合計		4	8	15	17	17	73	134



「小学校での防災啓発授業」

67 消防団員の出動状況

(令和6年度中)

計 (人員)	出動別					
	災害出動	人命捜索出動	警戒出動	訓練出動	機械器具点検出動	その他出動
	666	12	504	968	1,630	4,781

68 消防団機械器具等配備状況

(令和7年4月1日現在)

区分 分団別		防災学習車	防災活動車	救助資器材 搭載型 車両	消防ポンプ 自動車	小型 動力 ポンプ	積載車	機械器具		
								無人飛空機 (ドローン)	簡易 デジタル 無線機	背負式 消火水のう
計		1	1	1	1	107	95	2	210	162 101
消防団本部		1	1	1			1	2	14	
中部方面隊	三笠					2	1		6	
	春日					4	1		7	
	若草					1	1		6	
	白毫寺					1	1		4	
	大安寺					2	2		6	4 2
南部方面隊	東市					9	9		10	
	辰市					4	2		6	2 2
	明治					6	6		5	
	帶解					7	7		7	
	精華					4	4		6	7 4
西部方面隊	都跡					1	1		6	
	平城					3	3		8	11 4
	伏見					1	1		6	
	富雄					4	4		12	
東部方面隊	田原				1	15	13		16	36 18
	柳生					6	6		15	21 9
	大柳生					7	6		15	27 6
	東里					8	6		14	15 11
	狭川					3	3		10	8 4
	月ヶ瀬					7	7		13	11 7
	都祁					11	11		18	20 11

69 消防団員の報酬

階 級	職 名	報酬年額（円）
団 長	団 長	350,000
副 団 長	方面隊長	270,000
分 団 長	方面隊副隊長	160,000
	分 団 長	145,000
副分団長	副 分 団 長	88,000
部 長	部 長	65,000
班 長	班 長	55,000
団 員	団 員	50,000

出 動 種 別	1 日あたりの出動報酬額（円）
災 害	8,000
人命捜索	8,000
警 戒	6,000
訓 練	5,000
機械器具点検	4,000
そ の 他	4,000

※ 1日の出動時間が4時間未満のときの出動報酬額は、1日当たりの出動報酬額に2分の1を乗じて得た額とする。



「第26回全国女性消防操法大会 横浜」

裏表紙イラスト：中谷 有香さん

中谷 有香（なかたに ゆか）さんプロフィール

奈良市在住。紙芝居作家。

奈良を中心に創作紙芝居や奈良市の昔話を人々
に伝える活動をしている。

「住宅用火災警報器」の設置は消防法の改正により義務化されています。

～ 住警器！ 設置のつぎは 維持・管理 ～



りにまね

奈良市八条五丁目404番地の1

奈良市消防局 総務課

TEL 0742-35-1199

FAX 0742-33-8436

E-mail shoubou-soumu@city.nara.lg.jp